

ハンマーヘッド ユーザーズガイド
Version 3.5.5



スマート・インターネット・ソリューションズ株式会社

目次

1.Hammerhead とは. . .	4
2.Hammerhead の画面イメージ	6
データベース一覧画面	6
レコード一覧	7
レコード詳細画面	8
携帯電話の画面イメージ	8
管理画面	9
3.Hammerhead 設定マニュアル	10
1.データベース管理	10
DB一覧(管理画面)	10
DB作成	10
DB アップロード	10
DB ダウンロード	11
DB 項目設定変更	11
1. 項目の追加・削除	12
項目追加	12
項目削除	12
2. 項目の順序変更(並べ替え)	12
3. 項目名を同じ名前に設定した場合	13
項目それぞれを表示・非表示設定したい場合	13
4. 入力データタイプの種類	14
5. 入力選択リスト	15
6. 表示設定	15
関数一覧表	15
DB 項目詳細設定	19
1. 基本設定	19
2. 検索設定	20
プルダウン、ラジオボタン、チェックボックスの設定	22
数値入力条件の設定	24
RDB リンク	25
RDB リンクの種類	26
1. RDB リンク設定	27
2. DB 項目設定変更画面での設定方法	27
3. 詳細設定画面での設定方法	29
4. RDB リンクの設定検証	30
1 対多 (toSearchLink)	31
toSearchLink の具体例	31
設定方法	32
DB 設定変更	38
1. 基本設定	38
2. 詳細設定(WEB)	39
3. 詳細設定(携帯)	39
4. デフォルト検索条件	39
5. 特殊文字の全角半角の区別	40
6. デフォルトアップロード条件	40
アクセス権限設定	40
データベース・データの削除	41

DB データー括削除.....	41
サブデータベース.....	41
ビューテーブル.....	42
ビューテーブル作成.....	43
ビューテーブル削除.....	43
ビューテーブル設定変更.....	44
テンプレート.....	44
2. ユーザ管理	45
ユーザ登録・管理.....	45
グループ管理.....	45
3. カスタマイズ	47
IP アクセス制限.....	47
IPアドレス アクセス制限の有効化	47
【有効化する際のご注意】.....	47
カラー設定	50
伝言設定	50
伝言の表示/非表示	51
4. 検索設定.....	52
登録検索.....	52
オーナー検索登録.....	52
フィルタ機能.....	53
MyDB.....	53
グループ DB.....	54
変数検索.....	55
4.Hammerhead ユーザヘルプ.....	56
1. 基本操作	56
ログイン画面.....	56
管理者からの伝言画面.....	56
レコード一覧画面.....	57
レコード詳細画面.....	59
設定.....	60
2. 検索方法.....	61
データベースの選択.....	61
検索バー.....	61
検索対象.....	61
検索条件.....	62
検索キーワード.....	62
登録検索.....	63
アドバンスド検索.....	65
オーナー検索登録.....	65
5.Hammerhead のご利用環境.....	66
1. Hammerhead クライアントマシーン環境.....	66
ブラウザ.....	66
2. Hammerhead 利用可能ケータイ.....	66
携帯電話網インターネットサービス	66
改訂履歴.....	67

1. Hammerhead とは. . .

Hammerhead は設定簡単で使い勝手の良い Web データベースです

Web ブラウザや携帯で利用可能なデータベースです。

専用のクライアントアプリケーションは必要ありません。お使いの PC の Web ブラウザや携帯、スマートフォンでアクセスすればすぐにご利用いただけます。

業務に合ったデータベース構築も Web ブラウザで簡単に設定できるので、作り直しや作り変えがたいへん簡単です。



お客様に合った Hammerhead があります。しかも簡単導入！

『うちの部署で使いたい、離れたお客さんと使いたい、だけどサーバを管理できない. . .』

それならば **Hammerhead ASP** がお薦めです。

月極めで Hammerhead をレンタルするサービスで、お申込みと同時にトライアルをお使いいただけます。

サーバの購入費用や専任の管理者が必要ないので大変経済的です。

サーバは大手データセンター内で 24 時間管理されています。

もちろんバックアップや暗号通信も標準です。

携帯からのアクセスが可能です。もうビジネスの場所を選びません。



『専用サーバで会社のデータを丸ごと管理したい. . .』

それならば Hammerhead の **サーバーレンタル** が最適です。

サーバを丸ごとレンタルで利用できるので、自社でサーバーを管理する必要がありません。

Hammerhead とホームページを連携したり、貴社専用のカスタマイズやシステム構築など、専用サーバーレンタルなら実現できます。

Hammerhead はあなたの仕事を加速します

エクセルで表を共有しているが、別の人と上手く共有できないってことはありませんか？エクセルは同じファイルを複数の人で同時に編集することが出来ませんが、Hammerheadなら可能です。

グループでデータを追加、編集したり、必要なデータだけを抽出するしたりと自由自在です。

受発注管理や営業報告、顧客管理など各社事情に沿ったデータベースを業務本位で作成できるので、項目に無駄がありません。



Hammerhead ASP か Hammerhead をインストールした専用サーバをインターネットに接続すれば、拠点間のデータもスムーズに共有できます。もう距離を感じることはありません。

Hammerhead でシステム拡張ができます

既存の基幹システムから抽出できるデータを Hammerhead にアップロードすれば、関係者との共有が簡単にできます。既存システムに機能追加せず Web/携帯対応ができるので経済的な負担を押さえられます。



2. Hammerhead の画面イメージ

データベース一覧画面



Hammerhead は複数のデータベースを切り替えて表示できます。

ここには同じデータベースを参照しているが表示する項目を変えた別の見栄え(ビューテーブル)を作成することが出来ます。アクセス権と組み合わせることで、利用者の使い方を制限することが可能です。例えば、お客様からの「お問合せデータベース」というデータベースを作成し下記の項目を設定したとします。

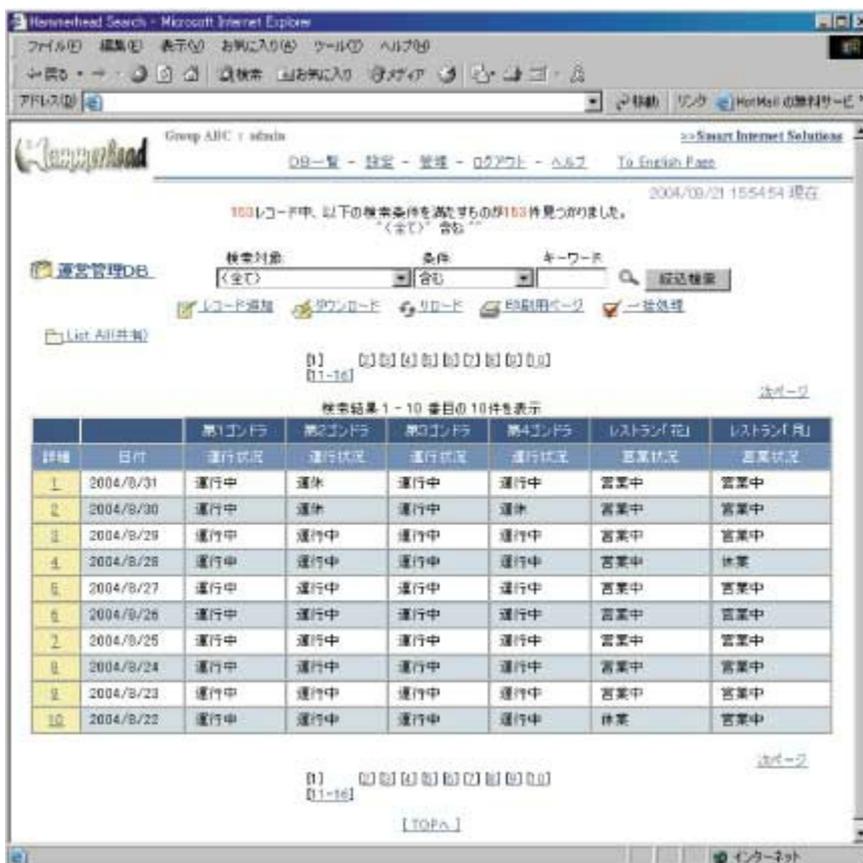
- ① 「名前」
- ② 「性別」
- ③ 「年齢」
- ④ 「住所」
- ⑤ 「電話番号」
- ⑥ 「問合せ内容」

社内閲覧には「お問合せ閲覧」という別の見栄えのビューテーブルを作成し、

- ② 「性別」
- ③ 「年齢」
- ⑥ 「問合せ内容」

だけを表示させ残りを表示しない設定にします。一般社員で閲覧できる情報をこの「お問合せ閲覧」だけにすれば、問い合わせた人の個人情報を表示することなく、年齢、性別と問い合わせ内容の関係をみることが出来ます。

レコード一覧



各データベースは上記のように一覧表示されます。
 この画面で検索を行い、必要なデータだけをリストアップすることが出来ます。
 検索は、対象を選ばず、全データの中から任意のキーワードで全文検索したり、「日付」、「数値」、「通貨」などの項目を対象に条件をつけて検索するなど様々な方法が可能です。

登録検索

検索方法を登録する「登録検索」は複数の絞込み検索を行った時に便利です。以前調べたレコードをワンクリックで表示することができます。検索結果を保存するのではないので、新たなデータが増えても検索条件に合致する時にはリストに順次表示されます。

フィルター設定

絞込み検索の結果を表示リストのデフォルトにします。
 例えば、「全国顧客リスト」を作成し、その中の「東京の顧客」だけを表示するビューテーブルを作成することが出来ます。

応用

各レコードには所有者が設定されています。基本的にレコードを作成したユーザがその所有者になりますが、管理者はこのレコード所有者を変更することが出来ます。
 自分が”所有者”となっているレコードを検索しフィルター登録します(MyDB 機能)。
 これにより、「業務日報」のように同じフォーマットで複数の人が書き込むデータベースで、自分自身の記録だけを簡単に追加・閲覧・編集・削除できます。別のビューテーブルを”閲覧”だけできる設定で作成すれば、他の人の記録も閲覧できるようになります。

ビューテーブル、フィルター、アクセス権を上手く組み合わせることで、「掲示板」や「仕事の振り分け表」、「オーダーフォーム」などが簡単に実現できます。

レコード詳細画面



レコード一覧から、各レコードの詳細情報を表示する画面です。
 ユーザのアクセス権に応じて、上下のボタン表示が変わります。

携帯電話の画面イメージ

Hammerhead ASP は I-mode、EZ-Web、Soft Bank でも、ご利用いただけます。

携帯での表示方法や携帯からのアクセスの禁止などを各データベースで個別に決めることができます。

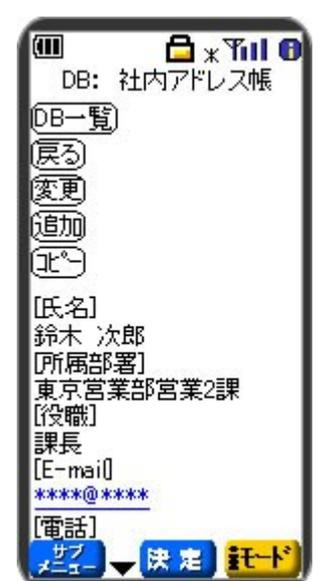
ただし WILLCOM 携帯などのブラウザ携帯の場合は PC からのアクセスとみなされる為、携帯電話用の設定は反映されません。

※パッケージ版の携帯アクセス機能はオプションです。

一覧画面



詳細画面



管理画面



Hammerhead のすべての設定は IE、Firefox などのブラウザで行えます。

プログラム等の専門知識は必要ありません。

- 「どんなデータベースを」
- 「誰に」
- 「どんな条件で」

見せるかの設計ができれば、Hammerhead の設定はすぐに行えます。簡単なデータベースなら設定しながら設計を決めることも出来ます。

すでにデータベースを CSV 形式お持ちの場合は、そのまま Hammerhead にアップロードするだけで簡単に取り込むことができます。

3. Hammerhead 設定マニュアル

1. データベース管理

管理者がデータベースを作成、管理します。

DB一覧(管理画面)

管理者画面のトップページに、ハンマーヘッドに登録されているデータベースとビューテーブル一覧表示します。データベース名をクリックすると項目設定変更画面が開きます。

DB作成

- 1 データベースを新規作成します。
- 2 データベース名と項目数を入力します。
 - ※ 項目名に半角ダブルクォーテーション(“)は設定できません。
- 3 カテゴリーを記入または選択します。
 - ※ 「カテゴリー」とは一覧で表示されるデータベースを分類する機能です。初めて設定する時は空欄にカテゴリー名を記入してください。すでに作成したカテゴリーを当てはめる場合はプルダウンから選択してください。
- 4 「説明」には作成したデータベースの概略を書き込みます(必須ではありません)。
 - ※ 「説明」に書かれた内容は、データベース一覧画面に表示されるタイル状のアイコンにマウスのポインタを乗せると表示されます。
- 5 アイコンを選びます。
- 6 作成ボタンを押すとデータベース項目設定画面に移ります。
 - ※ 項目数は半角で入力してください。
 - ※ 「テンプレート」はテンプレート登録を行っているときのみ選択可能です。

DBアップロード

既存のデータベースをアップロードします。

- 1 アップロードするデータベースを指定します。アップロード可能なファイル形式は CSV 形式のみです。
- 2 データベース名を変更したい場合は「データベース名」の欄に希望の名前を入力してください。「データベース名」が空欄の時は元のファイル名が登録名になります。

既存のデータベースにアップロードをする場合は、プルダウンで既存データベース名が表示されますので、アップロードするデータベース名を選択してください。

既存のデータベース名でアップロードすると「上書保存」「追加保存」を選択できます。

併存の場合は新たにデータベース名を入力するか、一度選択したデータベース名を「キャンセル」し、データベース名を変更してからアップロードしてください。

また、既存データベースアップロードで「上書保存」を選択すると、「既存のテンプレートを使用しますか？」とメッセージがでます。項目を追加したり、編集した場合は「NO」をクリックし、新たにデータベース項目を設定してください。

3. データ(レコード)の所有者を指定します。プルダウンで既に登録されているユーザが表示されますので、所有者を簡単に選択できます。所有者を指定しない場合は管理者がデータ所有者となります。
レコード詳細画面の右上に所有者、最終更新者が表示されます。
また、レコード追加/編集時にも所有者の指定がレコード追加/編集画面で行えます。

※ この機能が使えるのは、管理者のみです。

一般ユーザでログインされた場合は所有者の変更はできません。所有者を指定すると「MyDB」を設定したビューテーブルを作成したとき、ユーザ自身が作成したレコードと共に、admin(管理者)が作成、もしくはアップロードしたレコードの所有者を該当ユーザへ変更することにより、ユーザ自身が作成(入力)した以外のレコードも自分の所有として表示されます。

→MyDB 機能(4.検索設定 > MyDB)

4. 項目名の有無を選択します。
アップロードする csv ファイルの 1 行目に項目名があるか、項目名ないかを選択します。項目名が無い場合は「データの一行目にテンプレート情報を含む」のチェックボックスをはずしてください。
項目名なしでアップロードすると最初のレコードにあるデータが消えてしまいます。

※ 復旧する為には、全てのデータをダウンロードしてから、再度アップロードする必要がありますのでご注意ください。

DB ダウンロード

1. 管理画面からのダウンロード

選択したデータベースを CSV 形式でダウンロードします。

2. 検索画面で任意のレコードを一括ダウンロードする方法

管理者と一括処理権限のあるユーザは検索画面(データ一覧画面)で、選択したレコードの一括ダウンロード、一括削除ができます。

1. データ(リスト)一覧画面、及び、検索結果画面で、検索バー下にあるメニューの「一括処理」を選択クリックすると、リスト番号の次に「一括処理」選択欄が表示されます。
表示されたページのみに反映されます。
検索したレコードが複数ページになる場合は、開いたページごとに「一括処理」をクリックしてください。
データテーブルの一行目(項目行)に削除かダウンロードかを選択するプルダウンリストと全選択チェックボックス、実行ボタンがあります。
2. ダウンロードしたいレコードのチェックボックスをクリックし、チェックを入力します。
(全選択の場合は、全選択チェックボックスをクリックしチェックを入力)
3. データテーブル一行目の処理選択プルダウンリストでダウンロードを選択します。
※2と3の順はどちらが先でも構いません。
4. 実行ボタンをクリックし、ダウンロードします。

3. 検索結果のダウンロード方法

検索や絞込検索を行い、表示されたレコード一覧画面で「ダウンロード」リンクをクリックすると表示レコードを全てダウンロードすることが出来ます。

DB 項目設定変更

セルの属性や表示形式を設定します。編集を希望するデータベース名を選択します。

この DB 項目設定変更画面で、「項目の追加・削除」・「項目の順序変更(並び替え)」・「項目名」・「データタイプ」・「入力選択リスト/関数」・「検索表示項目」・「表示幅」の設定変更ができます。

DB項目設定 (商品管理)

番号	項目		入力		表示		項目
	詳細	項目名	データタイプ	入力選択リスト/開放	検索 表示項目	表示幅	
1		入荷日/入荷予定日	文字列		✓	1	
2		製品名	文字列		✓	1	
3		入荷数/入荷予定個数	文字列		✓	1	
4		在庫数	文字列		✓	1	
5		入荷担当者	RDBリンク	search("社内アドレス帳","氏名")	✓	1	
6		連絡事項	文字列			1	
7		備考	文字列			1	
8		新項目	文字列		✓	1	
9		New Item	文字列		✓	1	

また、詳細ボタン をクリックすると「DB 項目詳細設定」画面が開きます。

1. 項目の追加・削除

項目追加

新たに項目の追加が出来ます。

DB 項目設定、下段右の「項目追加」をクリックすると「New Item」という項目が末尾に追加されます。

項目名を変更し、項目の「順序変更」でご希望の位置へ移動させてください。

項目削除

不要項目を削除します。

元 DB の DB 項目設定には一番右の列にゴミ箱があります。

ゴミ箱をクリックすると項目とそこにあるデータも削除されますので、ご注意ください。

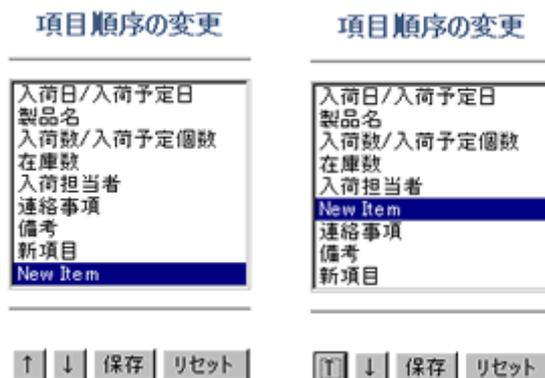
また、並び順を変更した VT 上でも該当項目は削除されます。

2. 項目の順序変更(並べ替え)

既存の項目の並び順を変更します。

この設定は元 DB や関連する VT(ビューテーブル)ごとに行えます。

1. 管理者画面より編集する DB/VT を選びます。
2. DB 項目設定、下段左の「順序変更」をクリック
3. 変更希望項目名を選び、矢印ボタンで上下に移動させます。
クリック1回で1つずつ移動します。
4. 希望の並び順が出来たら「保存」ボタンを押します。



- ※ 並び順変更後の DB アップロード時はアップロードする DB の並び順との整合性に十分ご注意ください。
- ※ age、days、eval など別項目参照する関数の記述の際、レコード番号を使うと並び順変更により正常に動作しない場合があります。関数は「項目名」をお使いください。

3. 項目名を同じ名前に設定した場合

検索項目の表示・非表示設定において以下のようになります。

片方を非表示に設定した場合

両方とも非表示となり、検索対象にならず、検索バーのプルダウンに登録されません。

両方とも表示に設定した場合

両方とも検索対象となりますが、項目名は一つのみ検索バーのプルダウンに登録され表示されます。

メリット: 両方の項目が検索対象となっているので検索が一度に行える

デメリット: 片方だけの検索をすることができない

項目それぞれを表示・非表示設定したい場合

番号などを付け項目名を変える。

例: 名前 1, 名前 2

DB項目設定 (New郵便番号)

番号	項目名	入力		表示	
		データタイプ	入力選択リスト/関数	検索表示項目	表示幅
1	郵便番号.旧	文字列		<input type="checkbox"/>	1
2	郵便番号.新	文字列		<input checked="" type="checkbox"/>	1
3	フリガナ.都道府県	文字列		<input type="checkbox"/>	1
4	フリガナ.市町村名	文字列		<input type="checkbox"/>	1
5	フリガナ.町域名	文字列		<input type="checkbox"/>	1
6	住所.都道府県	文字列		<input checked="" type="checkbox"/>	1
7	住所.市町村名	文字列		<input checked="" type="checkbox"/>	1
8	住所.町域名	文字列		<input checked="" type="checkbox"/>	1
9		文字列		<input type="checkbox"/>	非表示
10		文字列		<input type="checkbox"/>	非表示

保存 リセット

いくつかの項目をグループとしてまとめたいときは、共通のグループ名を各項目名の先頭に入力し、半角ドットで区切ります。

※例えば、「都道府県」、「市町村名」、「町域名」などを「住所」という項目にグルーピングすると検索結果画面では下記のように表示されます。

※グループ名+半角ドット+項目名

住所.都道府県

住所.市町村名

住所.町域名

詳細	郵便番号		住所	
	新	都道府県	市町村名	町域名
1	0600000	北海道	札幌市中央区	以下二掲載がない場合
2	0640941	北海道	札幌市中央区	旭ヶ丘
3	0600041	北海道	札幌市中央区	大通東

4. 入力データタイプの種類

入力タイプ	
文字列	データを文字列として認識します。
数値	四則演算、小数点処理、先頭ゼロ制御等の関数の対象となります。 検索時の“以上”、“以下”、“～の間”で使用できます。 検索画面における縦計の対象として使用できます。 半角数値および小数点、+-符号で入力してください。 三桁区切りのカンマは入力できません。この場合は通貨タイプをご使用ください。
日付	年齢表示やタイムリミットなどの関数の対象日となります。2000/04/01 の様に半角で記入してください。
関数	自動計算や自動実行などの結果を表示します。関数式は詳細設定の「入力選択リスト」に記入します。
リンク	指定文字列に指定 URL へのハイパーリンクを設定します。「http://」より記述してください。
メール	メールアドレスを記入するセルに指定してください。メーラーとリンクします。
テキスト	改行して文章を入力できるエリアです。HTMLは使用できません。
通貨	通貨等のカンマで桁取り表示される数値の入力、表示に使用します。 四則演算、小数点処理、先頭ゼロ制御等の関数の対象となります。 検索時の“以上”、“以下”、“～の間”で使用できます。 検索画面における縦計の対象として使用できます。 半角数値および小数点、+-符号で入力してください。
RDBリンク	<p>他のデータベースの特定のレコードのデータを参照し、更にハイパーリンクで関連付けるときに使用します。</p> <p>※ 詳しい説明は、RDBリンク設定方法へ 詳細設定画面の入力選択リストに下記の命令文を入力します。 list(“関連付けるデータベース名”,“関連づける項目名”) ※半角カンマで区切ります。 新規レコード追加画面でこれを指定した項目はプルダウン選択表示になり、別データベースのデータを選択できるようになります。設定後その項目にはハイパーリンクが張られ、クリックすると別データベースの指定データを含むレコードが詳細画面に表示されます。 search(“関連付けるデータベース名”,“関連づける項目名”) ※半角カンマで区切ります。 レコードの新規追加、及び、編集画面でこれを指定した項目は、その中で関連付けされたデータベースを検索でき、特定のレコードを選択できるようになります。設定後その項目にはハイパーリンクが張られ、クリックすると別データベースの指定データを含むレコードが詳細表示されます。検索対象となるデータベースの項目数が多い時に便利です。 search(“データベース A”,“関連づける項目名 1”) link(“データベース名 A”,“関連づける項目名 2”) link(“データベース名 A”,“関連づける項目名 3”) ※半角カンマで区切ります。</p> <p>link 設定は、同一のデータベース名を指定する search 設定と連動し、search 設定項目で選択されたレコード中の複数の項目を自動的に取り込むことが出来ます。 上記の例では、search でレコードを特定すると、search 項目には、選択したレコードの項目 1 の値が取り込まれ、同時に、項目 2、項目 3 の値が link リンク設定項目に取り込まれます。</p> <p>「link」で表示させた項目にはハイパーリンクが付きません。 「link」を「search」に置き換えると、その項目からも検索が出来ます。 命令文はそのままにデータタイプを「文字列」にするとプルダウン・サーチの入力方法は同じですがハイパーリンクは張られません。</p>

入力タイプ	
Tel (for i-mode)	電話番号に設定します。i-mode での表示にハイパーリンクされその番号に電話をかけられます。

5. 入力選択リスト

「関数」や「プルダウン」「ラジオボタン」「チェックボックス」の基本設定を行います。
この設定は「DB 項目詳細設定」と同じ記述を行います。
プルダウン等の設定方法は「DB 項目詳細設定」でご説明します。
変更などの場合、「DB 項目詳細設定」を開かずに行えるので便利です。
「関数」については、「関数一覧」をご覧ください。

6. 表示設定

検索表示項目

検索結果レコード一覧画面での表示、非表示の設定を行います。
表示させたい項目には、チェックを入れます。

表示幅

レコード詳細画面で表示されるセルの表示幅(列の幅)を設定します。
幅は、「1」「1/2」「1/3」「1/4」「非表示」の5種類から選択できます。
「1」は、1行に1列を表示、「1/2」は、1行に2列を表示します。
1行に最大4列(4項目)表示できます。
また、はじめの項目から順に、「1」「1/2」「1/3」「1/3」「1/3」と設定すると、
1行目は1項目のみ、2行目は2番目の項目が1/2幅でその項目のみ、3行目は後の3項目
が3列となって表示されます。

※ デフォルトでの設定は「1」になっています。

関数一覧表

機能	関数の説明と関数式	対象セルの属性
年齢表示	対象セルの日付を元に現在の年齢を表示します。 age("項目名")	日付
残日数表示 (カウントダウン)	対象セルの日付までの残日数を表示します。 days("項目名")	日付
経過日数	対象セルの日付からの経過日数を表示します。 past_days("項目名")	日付
指定文字列表示	レコードを作成したとき常に表示される文字列を指定します。 const("入力したい文字") 例 const("A社制作")	---
レコード作成者表示	レコード作成者を表示します。 \$owner	---
レコード番号表示	レコードごとに割り振られている固有の番号を表示します。 \$recno	---
レコード作成日表示	レコードが作成された日時を表示します。 \$cdate	---
レコード最終更新者	レコードを最後に更新したユーザ名を表示します。 \$user	---

機能	関数の説明と関数式	対象セルの属性
レコード最終更新日	レコードを最後に更新した日付を表示します。 \$update	---
ユーザの E-Mail 表示	ユーザ登録画面の「E-mail アドレス」欄に入力されたアドレスを表示します。 \$owner.email	
ユーザ情報表示	ユーザ登録画面の「ユーザ情報」欄に入力された文字列を表示します。 \$owner.info 「ユーザ情報」に記入された文字列を表示 \$owner.info1 「ユーザ情報(1)」に記入された文字列を表示 \$owner.info2 「ユーザ情報(2)」に記入された文字列を表示 \$owner.info3 「ユーザ情報(3)」に記入された文字列を表示 \$owner.info4 「ユーザ情報(4)」に記入された文字列を表示 \$owner.info5 「ユーザ情報(5)」に記入された文字列を表示	
未記入通知	対象セルが未記入の時に記入済みの時に表示される文字列を指定します。 isNull(“項目名”, “対象が未記入時の文字列”, “記入時の文字列”) 例 isNull(“入金”, “×”, “○”)	全て可
文字列の連結	別々の項目に表示されている文字列や任意の文字列を結合します。 toString(“項目名1”, “項目名2”, 任意の文字列) 例 toString(“氏名”, “様”) “氏名”にあるデータに「様」が結合して表示されます。	
1対多表示	レコード中のある項目に入力されている値を検索キーワード条件として別データベースの検索結果にリンクを設定をします。 設定方法は「1対多(toSearchLink)」参照	
かけ算	eval(“項目1”*“項目2”) 消費税込みの金額をひとつの項目で表示できます。 eval((“項目1”*“項目2”)*1.05) 小数点以下の桁数を指定できます。 計算式の最後尾に半角カンマ、「#」、桁数を表記します。 小数点以下2桁の場合。※2 eval(“項目1”*“項目2”, #2) ただし、eval((“項目1”*“項目2”, #2)*1.05) のように、#n 以降に記述された計算式は無視されます。 他の四則演算と組み合わせることも出来ます。 ※「mul」関数は旧バージョンの互換性維持としてサポートしています。	数値／通貨
わり算	eval(“項目1”/“項目2”) 小数点以下の桁数を指定できます。また、循環小数などは指定桁数の次の数字を四捨五入します。 計算式の最後尾に半角カンマ、「#」、桁数を表記します。 小数点以下3桁の場合。※2 eval(“項目1”/“項目2”, #3) 桁数を指定しない場合は小数点以下7位を四捨五入します。	数値／通貨

機能	関数の説明と関数式	対象セルの属性
	<p>割り算で割り切れなかった整数値(余り)を表示します。 記述は割り算の「/」を「%」にします。※2 eval(“項目 1”% “項目 2”)</p> <p>ただし、eval(“項目 1”/ “項目 2”,#3)*100) のように、#n 以降に記述された計算式は無視されます。</p> <p>他の四則演算と組み合わせることも出来ます。</p> <p>割り算で割り切れなかった整数値(余り)を表示します。 記述は割り算の「/」を「%」にします。※2 eval(“項目 1”% “項目 2”)</p> <p>※「div」関数は旧バージョンの互換性維持としてサポートしています。</p>	
足し算	<p>eval(“項目 1”+ “項目 2”)</p> <p>他の四則演算と組み合わせることも出来ます。</p> <p>※「sum」関数は旧バージョンの互換性維持としてサポートしています。</p>	数値／通貨
引き算	<p>eval(“項目 1”- “項目 2”)</p> <p>他の四則演算と組み合わせることも出来ます。</p> <p>※「sub」関数は旧バージョンの互換性維持としてサポートしています。</p>	数値／通貨
小数点切り上げ	ceil(“項目名”)	---
小数点切り捨て	floor(“項目名”)	---
数値の頭に0を付ける	<p>数値の頭に指定桁数分0を表示する</p> <p>eval(数式,%0<整数部桁数>.0lf)</p> <p>数式と%0 は、「カンマ」で区切ります。</p> <p><整数部桁数> 指定した桁数分だけ0で桁合わせされる。 例えば、「%08.0lf」とすると、 数値 1 は 00000001 数値 10 は 00000010 数値 10000 は 00010000 と表示される。</p>	数値／通貨
小数点以下の桁数を指定	<p>eval(数式, #<小数点以下の桁数>)</p> <p>例えば、通常の割り算で割り切れない場合 eval(200/3) -> 66.666667 デフォルトでは小数点以下 7 位を四捨五入しますが、下記設定では 小数点以下 2 位を四捨五入して以下 1 位までの桁数を表示します。 eval(200/3, #1) -> 66.7</p>	数値／通貨

機能	関数の説明と関数式	対象セルの属性
項目内容の複製/ 複数の項目内容の連結/ 項目内容と任意文字列との連結	項目の内容を複製、ダブルクォーテーションとカンマ区切りで複数の項目を複製、連結して表示 カンマ区切りで任意の文字列と連結して表示 toString("項目 1") 項目 1 の内容をコピー toString("項目 1","項目 2") 項目 1 項目 2 を複製して連結 toString("項目 1",様) 項目 1 の内容を複製して「様」を付ける	---

※1.設定時、項目間は半角カンマで区切って下さい。

※2.桁数指定や余り表示が必要な場合は eval を使用してください。

DB 項目詳細設定

詳細設定は、DB 項目設定画面の詳細アイコンをクリックします。

設定には「基本設定」と「検索設定」があります。

(入力選択リストの設定は、「項目設定編集画面」でも設定できます。)

DB項目詳細設定

基本設定	
データベース名:	顧客情報
項目番号:	2
項目名:	<input type="text" value="種別"/>
データタイプ:	<input type="text" value="文字列"/>
入力選択リスト:	<input type="text" value="radio(" 犬","猫","その他")"=""/>

検索設定	
検索表示項目:	<input checked="" type="checkbox"/>
ソート可:	<input type="checkbox"/>
縦合計の表示:	<input type="checkbox"/>
表示幅:	<input type="text" value="1"/>
折り返し禁止:	<input type="checkbox"/> 項目の内容が折り返しされない。
表示文字数:	<input type="text" value="0"/> 指定文字数以降の文字列は"..."で置き換えられる。
文字数/行:	<input type="text" value="0"/> 一行当たりの文字数(英数字)、全角文字は2文字として計算。
入力必須項目:	<input type="checkbox"/> レコード作成時や変更時に必ず入力すべき項目とする。
コピー禁止項目:	<input type="checkbox"/> レコードコピー時にチェックした項目はコピーされない。
セルの配置:	水平方向: <input type="text" value="左寄せ"/> 垂直方向: <input type="text" value="中央"/>
セルの色:	背景色: <input type="text" value="白"/> 文字色: <input type="text" value="黒"/>
フォント:	サイズ: <input type="text" value="+0"/> スタイル: <input type="text" value="標準"/>
コメント:	<input type="text"/>
コメント色:	<input type="text" value="黒"/>
コメント配置:	<input type="text" value="上付き"/>
アクセス制御:	<input type="text" value="編集可"/>

1. 基本設定

詳細設定を行うデータの項目に対して、以下の設定、変更を行います。

1. 項目名

項目名の入力、変更(項目設定画面でも設定可)

2. データタイプ

文字列、数値、日付、関数、リンク、RDBリンクなどの設定
設定は、項目設定画面でもできます。

詳細は「DB項目設定変更>入力データタイプ」をご覧ください。

3. 入力選択リスト

関数、プルダウンなどや、数値の入力条件の設定
設定は、項目設定画面でもできます。

詳細は以下のリンクからご覧ください。

- ・使用可能な関数の一覧表
- ・プルダウン、ラジオボタン、チェックボックスの設定方法
- ・数値の入力条件の設定方法

2. 検索設定

詳細設定を行うデータの項目に対して、以下の設定、変更を行います。

1. 検索表示項目

検索結果レコード一覧画面での表示、非表示の設定(項目設定画面でも設定可)
 チェックすることで、表示設定

2. 検索キー候補の表示

検索の際、検索対象にプルダウン、ラジオボタン、チェックボックスを設定している項目を選択した場合、プルダウン、ラジオボタン、チェックボックスに設定されているそれぞれの選択肢がキーワード入力フォームの横にプルダウンリストで表示される。
 (データタイプが文字列で、プルダウン、ラジオボタン、チェックボックスが設定されている項目にのみ設定可能)

6レコード中、以下の検索条件を満たすものが6件見つかりました。

検索対象: チェックボックス設定 条件: 含む キーワード: (候補)

レコード追加 ダウンロード アップロード リロード

List All(共有) tosearch

検索結果 1 - 6 番目の 6件を表示

詳細	会員番号	会員名	電話	受注年月日	製品名	個数	担当者名	ラジオボタン設定	チェックボックス設定
1	1	林 健太	012-3456-7890	2009/06/20	製品C	1	admin	C	在庫確認中
2	4	山田 太郎	03-3456-7890	2010/08/28	製品D	5	yokchama	D	発注完了
3	2	佐藤 一郎	00-0000-0000	2009/09/13	製品B	5	admin	B	在庫確認中
4	3	山田 太郎	045-831-7996	2009/07/10	製品A	4	yokchama	A	発注完了
5	1	林 健太	012-3456-7890	2009/06/20	製品A	1	admin	A	発注完了
6	3	山田 太郎	045-831-7996	2009/04/20	製品B	3	yokchama	B	入荷待ち

[1] [TOP^]

3. ソート可

検索結果の並び替え可能に設定

4. 項目列の足算合計の表示

項目列(フィールド)の数値を足算し、その合計を表示する設定

5. 表示幅

レコード詳細画面での表示幅の選択

6. 折り返し禁止

項目の内容が折り返されない

7. **表示文字数**
表示される文字数を設定
8. **文字数／行**
一行あたりの文字数の設定
9. **入力必須項目**
入力されないと注意表示が出るように設定
10. **コピー禁止項目**
検索詳細画面表示からレコードをコピーし、新規にレコードを作成する場合、対応する項目がコピーされないように設定
デフォルトはチェック無。レコードコピー時に項目の内容は新規レコードにコピーされる
11. **セルの配置**
セル内の文字列の水平・垂直位置を選択し、設定
12. **セルの色**
セル内の背景「白」「赤」「緑」「青」、文字の色「黒」「赤」「緑」「青」を選択し、設定
13. **フォント**
文字のサイズ、文字スタイルを選択し、設定
14. **コメント**
「コメント」に書かれた内容はデータの追加・変更画面でセルの下に表示されます。入力の解説になります。レコード入力時の解説
15. **コメント色**
コメントの文字色を設定。「黒」「赤」「緑」「青」から選択
16. **コメント配置**
コメントの配置を設定。「上付き」「右寄せ」「左寄せ」「下付き」から選択
17. **アクセス制御**
そのセルの編集の可・不可を決定します。データベースの項目を編集禁止にしてしまうと管理者も編集できなくなってしまうので、ビューテーブルでご使用下さい。

※ビューテーブルは「項目名」「データタイプ」「入力選択リスト」の編集は出来ません。

プルダウン、ラジオボタン、チェックボックスの設定

DB 項目設定画面の詳細アイコンをクリックし、DB 項目詳細設画面を開きます。
(入力選択リストの設定は、「項目設定編集画面」でも設定できます。)

1. プルダウンの設定方法

プルダウンは設定する項目を入力し半角カンマで区切ってください。
使用できるデータタイプは「文字列」と「数値」「日付」です。

(例 1) 日本,アメリカ,イギリス

(例 2) 1,2,3

2. ラジオボタンの設定方法

ラジオボタンは radio の後に設定する項目をダブルクォーテーションで囲み、半角カンマで区切り、項目全体を () でくくってください。データタイプは「文字列」です。

選択肢を横並びで表示させる場合

(例) radio("A","B","C")

選択肢を縦並びで表示させる場合

(例) vradio("xxx","yyy","zzz")

DB項目設定 (サンプル)

番号	項目名	入力		表示	
		データタイプ	入力選択リスト/関数	標準表示項目	表示幅
1	氏名	文字列		<input type="checkbox"/>	1
2	チェックボックス横	文字列	[checkbox("い","ろ","ほ","に")]	<input checked="" type="checkbox"/>	1
3	チェックボックス縦	文字列	[checkbox("A","B","C")]	<input checked="" type="checkbox"/>	1
4	数値入力条件	数値	[0.0,24.2]	<input checked="" type="checkbox"/>	1
5	予備欄	文字列		<input type="checkbox"/>	1

保存 リセット



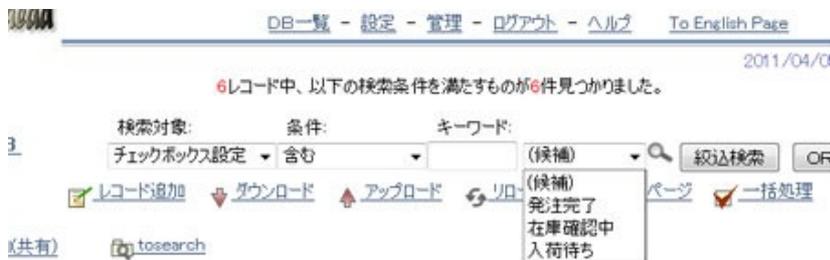
3. チェックボックスの設定方法

チェックボックスはラジオボタンと同様にボタン機能のひとつです。しかし、ラジオボタンが複数の選択肢の中で一つしか選べないのに対し、チェックボックスは、各選択肢ごとに選択の有無を決定できます。チェックボックスは checkbox の後に設定する項目をダブルクォーテーションで囲み、半角カンマで区切り、項目全体を () でくってください。データタイプは「文字列」です。

- 選択肢を横並びで表示させる場合
(例) checkbox("い","ろ","は","に")
- 選択肢を縦並びで表示させる場合
(例) vcheckbox("A","B","C")

4. 検索キー候補の表示設定

プルダウン、ラジオボタン、チェックボックスを設定した項目(データタイプが文字列のみ)に、検索キー候補の表示設定を行うと、以下の図のように、選択肢がキーワード候補に表示されます。



検索キー候補 表示の設定方法

設定したいプルダウン項目やチェックボックス項目、ラジオボタン項目の「DB 詳細設定画面」の検索設定に「検索キー候補の表示」というチェックボックスにチェックを入れて設定保存します。

DB項目詳細設定	
基本設定	
データベース名	受注DB
項目番号	8
項目名	ラジオボタン設定
データタイプ	文字列
入力選択リスト	radio("A","B","C","D")
検索設定	
検索表示項目	<input checked="" type="checkbox"/>
検索キー候補の表示	<input checked="" type="checkbox"/>
ソート可	<input type="checkbox"/>
縦合計の表示	<input type="checkbox"/>
表示幅	1
折り返し禁止	<input type="checkbox"/> 項目の内容が折り返しされない。
表示文字数	0 指定文字数以降の文字列は"..."
文字数/行	0 一行当たりの文字数(英数字)、
入力必須項目	<input type="checkbox"/> レコード作成時や変更時に必ず入力

数値入力条件の設定

DB 項目設定画面の詳細アイコン  をクリックし、DB 項目詳細設定画面を開きます。
(入力選択リストの設定は、「項目設定編集画面」でも設定できます。)

設定できる条件

1. 初期値: 新規レコード作成時、既に入力されている数字
2. 最小値: 入力可能な数値の下限
3. 最大値: 入力可能な数値の上限
4. ステップ値: 数値を増加させる刻み数

設定方法

項目属性を「数値」にし、入力選択リスト/関数欄に以下のように設定数値を入力します。
※設定する数値は、「半角数値」で入力し、数値間は「半角カンマ」で区切ります。
それらを [] でくります。

[初期値,最小値,最大値,ステップ値]

※同項目の未入力を許可する場合は、数値が「0」でも入力ができる設定にしてください。

設定例

初期値は0で、最小は0、最大は24、偶数のみを入力できるようにするには
[0,0,24,2] ...と設定します。

すると例えば、3を入力すると、レコード入力画面上部に入力部分に、「数値属性項目”上限下限”の値”3”はステップ値によるレンジエラー。」と表示され、入力部分のバックグラウンドがオレンジ色になります。

RDB リンク

RDB(リレーショナルデータベース)リンクは、他のデータベースからデータを参照できる機能です。入力の二度手間を省くこともでき、リンクされたDBをクリック一つで開くことができます。RDBリンクの設定手順を、例を使ってご説明します。

1. 下記のような項目のデータベースがあるとします。

会員 DB

氏名	住所	電話	E-mail
----	----	----	--------

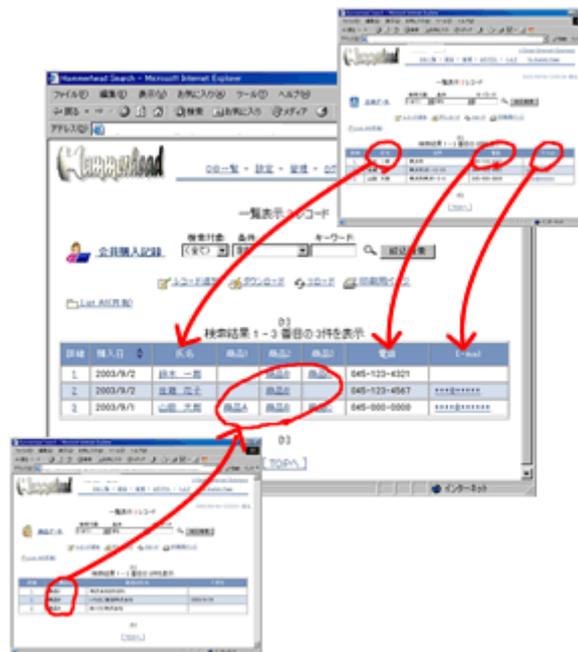
商品 DB

商品名	製造会社名	入荷日	備考
-----	-------	-----	----

2. 新たに、会員購入記録という3つの商品の購買調査データベースを新規作成するとします。このDBを開けば、「会員の情報」も「購入した商品の情報」も見ることができる」というものを作りたい。

会員購入記録

購入日	氏名	商品名	商品名	商品名	電話	E-mail
-----	----	-----	-----	-----	----	--------



氏名・電話・E-mail は、会員 DB に既に入力されています。
商品名は、商品 DB に入力されています。

RDB リンクの種類

RDB リンクの設定には、以下の2種類があります。

1. RDB リンク: RDB リンク項目が表示のみで編集ができない
2. RDB リンク RW: RDB リンク項目の編集が可能

RDB リンク RW に対してのアクセス権限は、アクセスしている DB に設定されているアクセス権限が適用されます。

RDB リンク及び、RDB リンク RW が設定されている DB に「検索及び編集可能な権限」が付与されている場合						
アクセス権／表示・編集		詳細画面での編集				ハイパーリンクをクリックして開く画面 (リンク元 DB)の編集
		RDB リンク項目の表示	RDB リンク項目の編集	RDB リンク RW 項目の編集	リンク元 search 再設定	リンク元 DB の編集
リンク元 DB のアクセス権	アクセス権無し	○	× ※1	○ ※1	×	× リンク元へのハイパーリンク無し
	検索のみ可能ユーザ	○	× ※1	○ ※1	×	× 変更ボタンは表示されない
	検索及び編集可能ユーザ	○	× ※1	○ ※1	○	○ ※2

※1) RDB リンク RW 項目を詳細画面で編集した場合、リンク元 DB のレコードは変更されません。
編集を行ったデータベースのレコードのみが変更されます。

※2) リンク元 DB の編集は、リンク元 DB のアクセス権が「検索及び編集可能」ユーザでないと編集することはできません。
元 DB を編集する場合は、元 DB から編集するか、元 DB へのハイパーリンクをクリックして開いた画面で編集を行ってください。
また、リンク元 DB を編集する以前に作成したレコードの内容は、編集前の内容を保持しています。
最新情報に変更する場合は、再度 RDB サーチを再設定してください。

次ページからの RDB リンク設定方法は、先の会員購入記録データベースの例を使って説明します。

会員購入記録データベースに RDB リンク RW が設定されていて、「検索及び編集可能」アクセス権が付与されていれば、そのリンク元である会員 DB 及び商品 DB のアクセス権が無くても編集が可能になります。

1. RDBリンク設定

設定方法は、2通りあります。”RDBリンクとは”での例を設定していきます。

1. DB項目設定変更画面で設定する方法(1)

※全編集ボタンをクリックすると、すべての項目が編集可能になります。また、行編集ボタンでは、クリックした項目の行のみが編集できるようになります。(図1)(図3)

2. DB項目設定画面のをクリックし、DB項目詳細設定画面で設定する方法(2)があります。

(図1)

DB項目設定 (会員購入記録)

番号	項目	項目名	入力		表示	
			データタイプ	入力選択リスト/関数	検索表示項目	表示幅
1		購入日	日付		<input checked="" type="checkbox"/>	1
2		氏名	RDBリンク	search("会員データ","氏名")	<input checked="" type="checkbox"/>	1
3		商品1	RDBリンク	list("商品データ","商品名")	<input checked="" type="checkbox"/>	1/3
4		商品2	RDBリンク	list("商品データ","商品名")	<input checked="" type="checkbox"/>	1/3
5		商品3	RDBリンク	list("商品データ","商品名")	<input checked="" type="checkbox"/>	1/3
6		電話	RDBリンク	link("会員データ","電話")	<input checked="" type="checkbox"/>	1/2
7		E-mail	RDBリンク	link("会員データ","E-mail")	<input checked="" type="checkbox"/>	1/2



2. DB項目設定変更画面での設定方法

(図2)



1. DB項目設定変更メニューをクリックし、設定したいDBを選択します。
2. DB項目設定変更画面が開きます。編集画面にし、RDBリンクを使いたい項目の”入力データタイプ”を指定します。指定は、プルダウンメニュー(図2)から”RDBリンク”を選びます。

DB項目設定 (会員購入記録)

番号	項目		入力		表示	
	項目名	データタイプ	入力選択リスト/関数	検索表示項目	表示幅	
1	購入日	日付		<input checked="" type="checkbox"/>	1	
2	氏名	RDBリンク	search("会員データ","氏名")	<input checked="" type="checkbox"/>	1	
3	商品1	RDBリンク	list("商品データ","商品名")	<input checked="" type="checkbox"/>	1/3	
4	商品2	RDBリンク	list("商品データ","商品名")	<input checked="" type="checkbox"/>	1/3	
5	商品3	RDBリンク	list("商品データ","商品名")	<input checked="" type="checkbox"/>	1/3	
6	電話	RDBリンク	link("会員データ","電話")	<input checked="" type="checkbox"/>	1/2	
7	E-mail	RDBリンク	link("会員データ","E-mail")	<input checked="" type="checkbox"/>	1/2	



(図3)

3. ”入力選択リスト/関数”にどのDBのどの項目をどうリンクさせるかの関数を入力します。前ページの会員購入記録データベースにするには、下記のような関数を指定します。

※RDBリンク項目の編集可能設定(linkrw)について
RDBリンクRWのレコードを更新しても、リンク元DBのレコードは書き換わりません。

氏名は、会員データの氏名から参照するので、
search(“会員データ”,“氏名”)
※レコード作成時、会員データから該当者を検索できる。

電話は、会員データの電話から参照するので、
link(“会員データ”,“電話”)
※レコード作成時、会員データを検索し、選択すると自動入力される。
※ハイパーリンクは付かない。

RDB リンク RW の場合： linkrw(“会員データ”,“電話”)
(会員購入記録 DB に編集可能な権限が付与されている場合、
電話番号を変更することができる。)

E-mail は、会員データの E-mail から参照するので、
link(“会員データ”,“E-mail”)
※レコード作成時、会員データを検索し、選択すると自動入力される。
※ハイパーリンクは付かない。

RDB リンク RW の場合： linkrw(“会員データ”,“E-mail”)
(会員購入記録 DB に編集可能な権限が付与されている場合、
E-mail を変更することができる。)

商品 1.2.3 は商品データに入っている商品名を参照するので、
list(“商品データ”,“商品名”)
※レコード作成時、商品名がプルダウンリストになる。

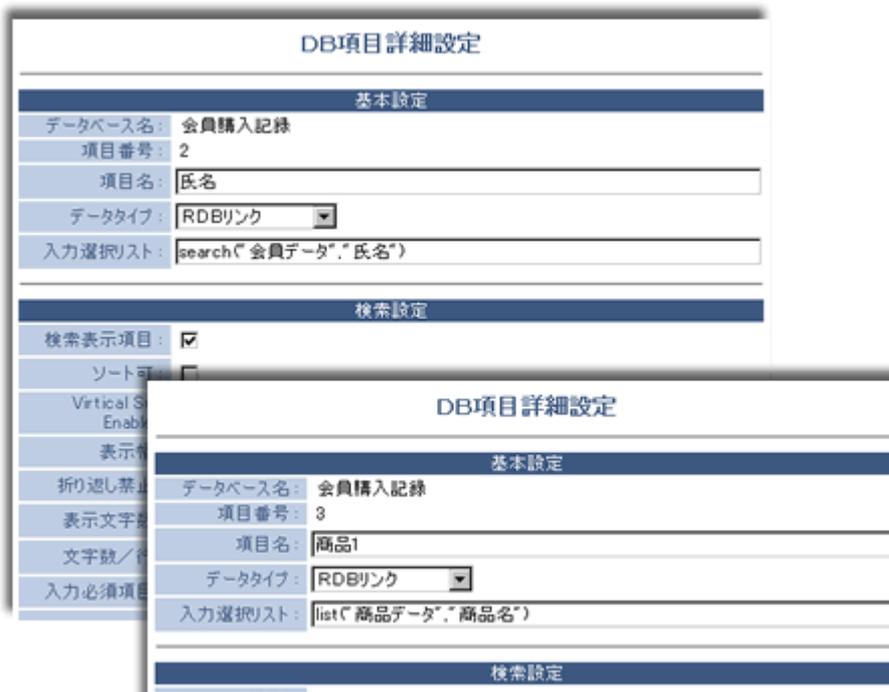
※リストには RDB リンク RW はありません。

※「link」は「search」を設定したデータベース(この場合、会員データ)に対して有効となります。

4. 設定が出来たら保存ボタンを押します。

3. 詳細設定画面での設定方法

1. DB 項目設定変更メニューをクリックし、設定したい DB を指定します。
2. DB 項目設定変更画面が開きます。項目詳細設定ボタン  をクリックし、DB 項目詳細設定画面を開きます。
3. ”データタイプ”は、プルダウンメニューから ”RDBリンク” を選びます。
4. ”入力選択リスト”に、どの DB のどの項目をどうリンクさせるかの関数を指定します。
5. 設定が出来たら保存ボタンを押します。



The image shows two overlapping screenshots of the 'DB項目詳細設定' (DB Item Detail Setting) screen. The top screenshot shows the configuration for item '氏名' (Name) with the following details:

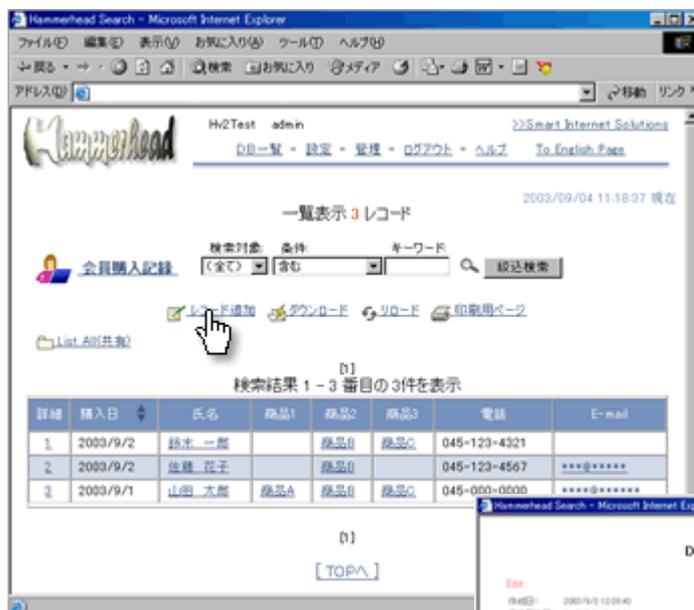
- 基本設定**
 - データベース名: 会員購入記録
 - 項目番号: 2
 - 項目名: 氏名
 - データタイプ: RDBリンク
 - 入力選択リスト: search("会員データ","氏名")
- 検索設定**
 - 検索表示項目:
 - ソート可:
 - Vertical Scroll Enable:
 - 表示数: [input field]
 - 折り返し基準: [input field]
 - 表示文字数: [input field]
 - 文字数/行: [input field]
 - 入力必須項目: [input field]

The bottom screenshot shows the configuration for item '商品1' (Item 1) with the following details:

- 基本設定**
 - データベース名: 会員購入記録
 - 項目番号: 3
 - 項目名: 商品1
 - データタイプ: RDBリンク
 - 入力選択リスト: list("商品データ","商品名")
- 検索設定**
 - [input field]

4. RDBリンクの設定検証

1. 作成した「会員購入記録」を開きます。



2. レコードを追加します。
レコード追加ボタンを押すと、レコード入力ポップアップウィンドウが開きます。
氏名を入力するには、検索ボタンを押すとポップアップウィンドウで「会員データ」が開きます。
氏名を覚えているような時は、キーワードを入力して検索ボタンを押すと検索された「会員データ」が開きます。
※氏名は、search(“会員データ”, “氏名”) と設定しています。



3. 「会員データ」にある入力したい氏名のレコードの先頭にある詳細番号をクリックすると、下図のように「氏名」「電話」「E-mail」が自動的に入力されます。
※電話は、link(“会員データ”, “電話”)、 E-mail は、link(“会員データ”, “E-mail”) と設定しています。
4. 商品を入力するには、入力欄右の矢印ボタンを押すと「商品データ」に入力されている商品名が、リストになって表示されます。入力したい商品名を選ぶと記入されます。
※商品 1.2.3 はそれぞれ全て、list(“商品データ”, “商品名”) と設定しています。



5. 保存ボタンをクリックするとレコードが追加されます。
6. 作成したレコードのリンクが貼ってあるところをクリックしてみます。
「会員購入記録」リスト一覧表示画面から、氏名をクリックすると、「会員DB」のその氏名の詳細ウィンドウが開きます。(氏名・住所・電話・E-mail) がわかります。
また、商品名をクリックすると「商品DB」のその商品の詳細ウィンドウが開きます。(商品名・製造会社名・入荷日・備考) がわかります。

1 対多 (toSearchLink)

レコード中のある項目に入力されている値を検索キーワード条件とし、別データベースの検索結果にリンクを設定をします。

※ この設定方法では、「項目〇〇」で「キーワード×××」を“含む”など、1回の絞込検索を設定することができます。1回の絞込検索を行った検索結果から更に別項目で絞込検索をした場合など、2回以上の検索を組み合わせた絞込検索の設定はできません。

2回以上の絞込検索でご利用になりたい場合は、お問い合わせください。

toSearchLink の具体例

会員データベースと会員受注データベースがあるとします。

会員データベースを開くと「会員名」「住所」「電話」「受注一覧」という項目があります。

会員受注データベースには「会員名」「受注年月日」「製品名」「個数」があります。

会員データベースの「受注一覧」項目にはリンク(受注 DB)があり、そのリンクをクリックするとその会員名の購買記録が別ウィンドウで開きます。このリンクを設定するための関数が「toSearchLink」です。

会員データベース

	会員名	住所	電話	受注一覧
1	山田 太郎	神奈川県横浜市磯子区	045-831-7996	受注 DB
2	佐藤 一郎	東京都目黒区自由が丘	00-0000-0000	受注 DB

受注データベース

	会員名	受注年月日	製品名	個数(個)
1	山田 太郎	2009/09/15	製品 A	3
2	佐藤 一郎	2009/09/13	製品 B	5
3	山田 太郎	2009/07/10	製品 A	4
4	林 健太	2009/06/20	製品 A	1
5	山田 太郎	2009/04/20	製品 B	3

会員データベースで山田 太郎さんの受注リンクをクリックした時の表示

	会員名	受注年月日	製品名	個数(個)
1	山田 太郎	2009/09/15	製品 A	3
2	山田 太郎	2009/07/10	製品 A	4
3	山田 太郎	2009/04/20	製品 B	3

この設定では、条件となる値を含むという1回のみを検索を設定することができます。複数回の絞込検索や一致、以上などの設定はできません。

設定方法

(1) 2つのデータベースを作成

前途の例を元に設定をしていきます。

ハンマーヘッドに設定するデータベース(会員 DB)と参照するデータベース(受注 DB)を作成します。

参照するデータベースと設定するデータベースに同じ項目を作成します。設定したデータベースのその項目の値が参照するデータベースの検索条件になるためです。

今回の場合は「会員名」です。

DB一覧

データベース名	カテゴリ	項目数	レコード数	ディスク使用量(KB)	作成日	最終更新日
CVDB		23	7	5	2009/01/26 17:32:28	2009/01/26 17:32:28
会員DB		5	3	4	2009/09/15 13:04:50	2009/09/15 13:18:14
受注DB		5	5	4	2009/09/15 13:07:16	2009/09/15 13:23:09

会員 DB の「受注一覧」項目に受注 DB で絞り込んだ各会員の受注履歴一覧のリンクをつける為、まず同項目のデータタイプを「関数」に設定します。

DB項目設定 (会員DB)

番号	項目名	入力		表示	
		データタイプ	入力選択リスト/開放	検索表示項目	表示幅
1	会員名	文字列		<input checked="" type="checkbox"/>	1
2	住所	文字列		<input checked="" type="checkbox"/>	1
3	電話	Tel (for i-mode)		<input checked="" type="checkbox"/>	1
4	E-mail	メール		<input checked="" type="checkbox"/>	1
5	受注一覧	関数		<input checked="" type="checkbox"/>	1

とりあえずこの状態で会員 DB の設定を保存し、次に参照する側の受注 DB の設定を行います。

DB項目設定 (受注DB)

項目		入力		表示	
番号	項目名	データタイプ	入力選択リスト/開放	検索表示項目	表示幅
1	会員名	RDBリンク	search("会員DB","会員名")	<input checked="" type="checkbox"/>	1
2	電話	RDBリンク	link("会員DB","電話")	<input checked="" type="checkbox"/>	1
3	受注日	日付		<input checked="" type="checkbox"/>	1
4	製品名	文字列		<input checked="" type="checkbox"/>	1
5	個数	数値		<input checked="" type="checkbox"/>	1

保存 リセット

※「会員名」「電話」項目は直接入力でも構いませんが、ここでは会員 DB を参照する RDB リンクを設定しています。RDB リンクを設定することにより、会員名と電話番号が自動に入力されるので、入力ミスの防止や入力手間を省くことができます。

受注 DB の設定は以上です。会員 DB に2名のテストデータを入力し、同時に受注 DB にはその人の受注履歴を各1レコード入力します。

(2) 参照したいデータベース(受注DB)で絞り込み検索を登録

会員 DB の「受注一覧」に「受注 DB」というリンクを設置し、それをクリックするとその会員の受注履歴のみが表示されるよう設定します。その為にまず受注 DB で任意の会員名で絞り込み検索を行い、その結果を登録します。実際の設定ではクリックしたレコードの会員名で検索されるので、ここではどなたの名前でも構いません。

検索条件登録

データベース名:	受注DB
検索条件:	以下の全ての条件を満たす(AND 検索) "会員名" 含む "山田"
検索登録名:	searchlink用
	前回の検索条件に名前を付けて登録できます。 次回からは登録検索を選択することにより 検索結果を表示できます。 複数の検索条件を必要とする検索に有効です。
共有:	<input checked="" type="radio"/> 共有しない <input type="radio"/> 共有する

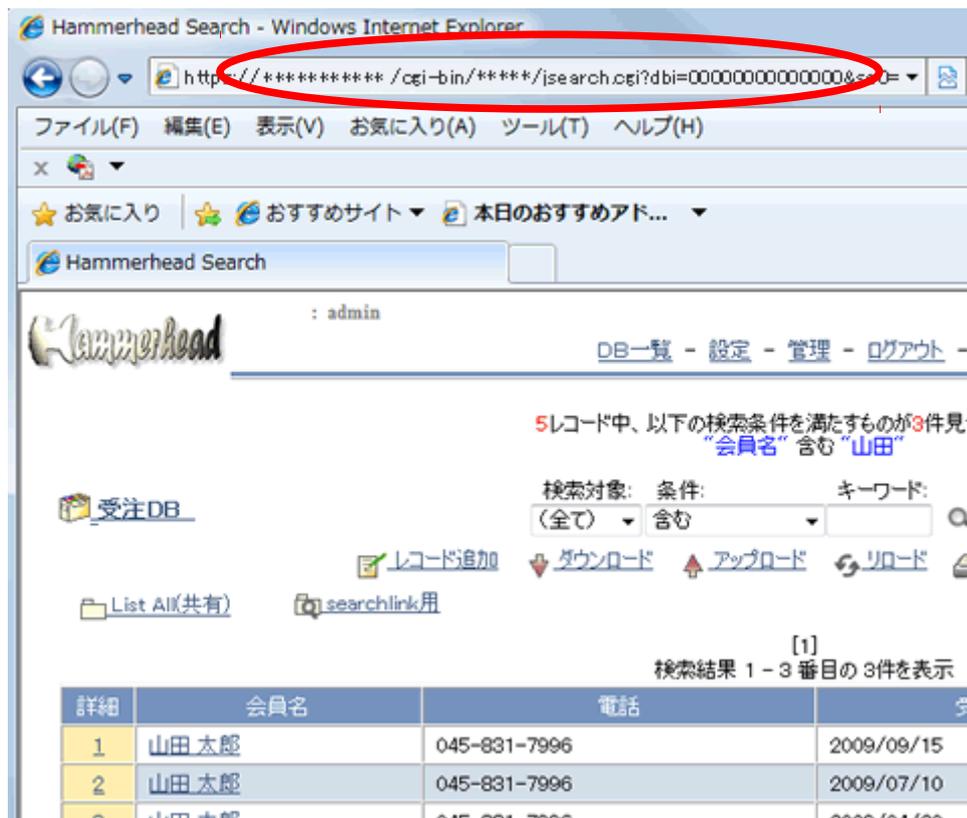
保存 編集 戻る

ここでは検索対象を「会員名」、検索条件を「含む」、キーワードを「山田」で検索し登録しました。検索条件を「一致」にすることも問題ありません。「searchlink 用」は任意の名前です。



(3) 設定する参照リンクの URL を取得

(2)で設定した登録検索をクリックし開いた画面の URL をコピーしてメモ帳やテキストエディターにコピーペーストします。



(4) toSearchLink 関数の設定

先に、設定途中で保存した会員 DB の「受注一覧」項目の「入力選択リスト/関数」欄を編集します。

DB 項目設定画面の全編集、又は DB 項目詳細画面のどちらでも構いませんが、DB 項目詳細画面の方が作業が若干楽に出来ます。

DB項目設定 (会員DB)

項目 番号	項目		入力		表示		項目 削除
	詳細	項目名	データタイプ	入力選択リスト/関数	検索 表示項目	表示幅	
1	☺	会員名	文字列		✓	1	🗑
2	☺	住所	文字列		✓	1	🗑
3	☺	電話	Tel (for i-mode)		✓	1	🗑
4	☺	E-mail	メール		✓	1	🗑
5	☺	受注一覧	関数	toSearchLink("受注DB","new1","/cgi-bin/s...	✓	1	🗑

DB一覧 - 設定 - 管理 - ログアウト - ヘルプ To English Page

DB項目詳細設定

基本設定

データベース名: 会員DB

項目番号: 5

項目名: 受注一覧

データタイプ: 関数

入力選択リスト: toSearchLink("受注DB","new1","/cgi-bin/****/jsearch.cgi?dbi=000000

検索設定

検索表示項目: 00

(5) 「入力選択リスト/関数」欄の設定

「3」でコピーペーストした URL を編集します。メモ帳などのテキストエディターで編集すると効率が良いです。

1. 「/cgi-bin/****/jsearch.cgi?dbi=00000000000000& ~ &sk0=」までをコピーして、基の URL の下にペーストします。00~00 の部分は数字が並んでいます。

2. 更に以下のどちらかをコピーし、テキストエディターにペーストし、編集します。

【半角カンマのみの区切り】

toSearchLink(受注DB, new1,/cgi-bin/****/jsearch.cgi?dbi=00000000000000& ~ &sk0=,会員名)

【半角カンマとダブルクォートの区切り】

toSearchLink("受注DB","new1","/cgi-bin/****/jsearch.cgi?dbi=00000000000000& ~ &sk0=","会員名")

「1」でコピーしておいた/cgi-bin/から&sk0までを入替えます。

※半角カンマ、半角ダブルクォートの入力にご注意ください。

3. “受注DB”のところに、任意のリンク名を入力します。

この例の場合は、会員DBでのそれぞれのレコードでのリンクテキストが「受注DB」となります。

4. "new1"は、クリックして開くブラウザの指定です。他の設定で、new1というブラウザが開いている場合、そのブラウザの表示と入れ替わりますので、更に新たに開きたい場合はnew2、new3などと名前を変更します。

5. "会員名"のところに絞り込み検索の条件となる項目名を入力します。
設定しているデータベースの項目名の値と参照するデータベースの項目名の値が一致するものを絞り込ませませす。

6. 設定後、設定したデータベースのレコード一覧画面を開き、正しく表示されているか確認してください。設定が誤っている場合、データが表示させる部分が白くなくなにも表示されないことがあります。正しい表示がされない場合は、管理画面へ戻り設定を修正してください。よくある間違いは、半角カンマ、半角ダブルクォートの入力ミスです。

以上で設定は完了です。
絞り込みが2回以上の場合、更に複雑になりますので、設定をなさりたい場合はお問い合わせください。

Hammerhead : admin >> Smart Internet Solutions
DB一覧 - 設定 - 管理 - ログアウト - ヘルプ To English Page
2008/09/15 17:11:09 現在

3レコード中、以下の検索条件を満たすものが3件見つかりました。

会員DB 検索対象: 条件: キーワード: (全て) 含む 絞り込み検索 OR検索

レコード追加 ダウンロード アップロード リロード 印刷用ページ 一括処理

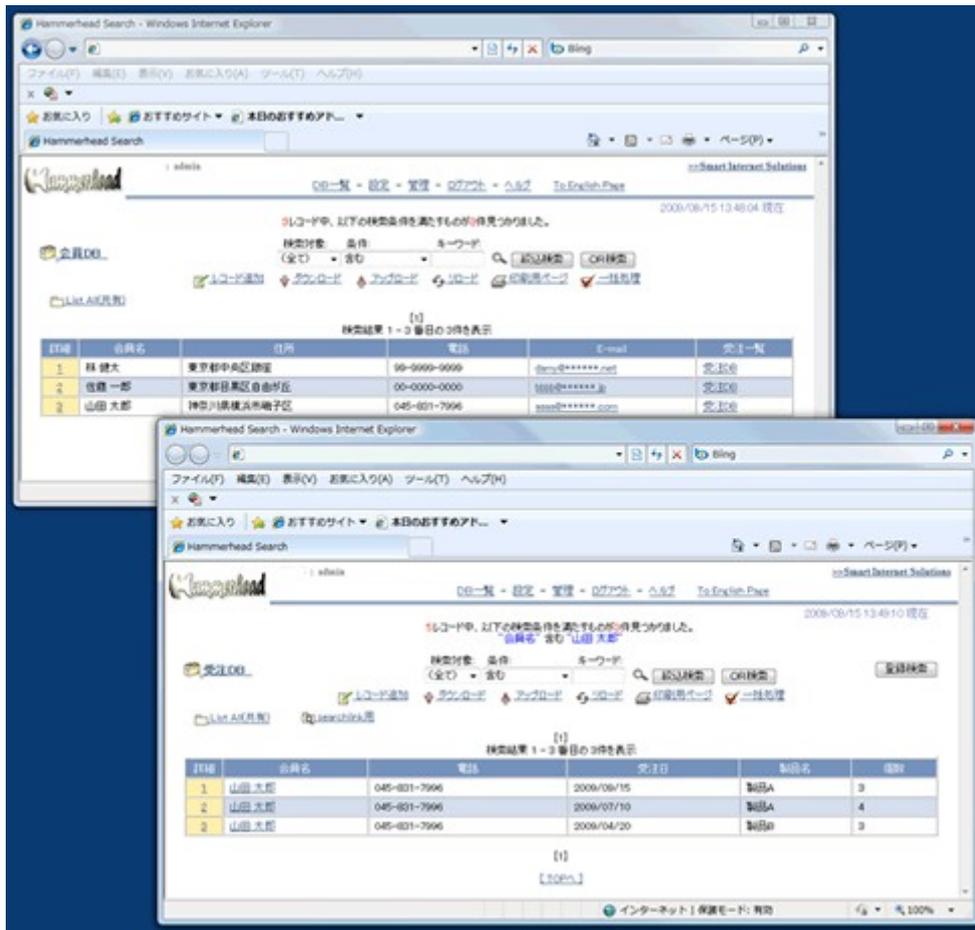
List All(共有)

(1)
検索結果 1 - 3 番目の 3件を表示

詳細	会員名	住所	電話	E-mail	受注一覧
1	林 健太	東京都中央区銀座	99-9999-9999	damy@*****.net	受注DB
2	佐藤 一郎	東京都目黒区自由が丘	00-0000-0000	bbbb@*****.jp	受注DB
3	山田 太郎	神奈川県横浜市磯子区	045-831-7996	aaaa@*****.com	受注DB

(6) 動作確認

会員DBの山田太郎さんの「受注一覧」項目にある受注DBリンクをクリックすると次ページのように新たなウインドウが開き山田太郎さんの受注履歴のみのレコードが表示されます。



Hammerhead : admin >> Smart Internet Solutions
 DB一覧 - 設定 - 管理 - ログアウト - ヘルプ To English Page
 2009/09/15 17:26:20 現在
 5レコード中、以下の検索条件を満たすものが3件見つかりました。
 “会員名”含む “山田 太郎”

受注DB 検索対象: 条件: キーワード:
 (全て) 含む 絞り込検索 OR検索 登録検索

レコード追加 ダウンロード アップロード リロード 印刷用ページ 一括処理

List All(共有) searchlink用

[1]
 検索結果 1 - 3 番目の 3件を表示

詳細	会員名	電話	受注日	製品名	個数
1	山田 太郎	045-831-7996	2009/09/15	製品A	3
2	山田 太郎	045-831-7996	2009/07/10	製品A	4
3	山田 太郎	045-831-7996	2009/04/20	製品B	3

DB 設定変更

1. 基本設定

データベースの名前、アイコン、カテゴリ、説明の変更をします。

ただし、名前を変更するデータベースを別のデータベースが「RDBリンク」しているときは、そのデータベースの命令文にあるデータベース名も同じように変更してください。

データベースの設定変更

基本設定

データベース名:	<input type="text" value="顧客情報"/>	
新しいデータベース名:	<input type="text"/>	
カテゴリ:	<input type="text"/>	<input type="button" value="一定範囲のみカテゴリから選択"/>
説明:	<input type="text"/>	
アイコン:	<input type="text" value="004"/>	

詳細設定 (WEB)

一般ユーザによる登録検索(共有)の編集禁止:	<input type="checkbox"/>
検索フォームの非表示 (WEB):	<input type="checkbox"/>
PCからのアクセス禁止:	<input type="checkbox"/>

詳細設定 (携帯)

検索フォームの非表示 (携帯):	<input type="checkbox"/>
一覧画面での項目名の表示 (携帯):	<input type="checkbox"/>
携帯からのアクセス禁止:	<input type="checkbox"/>

デフォルト検索条件

アドバンスド検索オプションの表示:	<input type="checkbox"/>
アルファベット大文字/小文字の区別なし:	<input type="checkbox"/>
全角/半角の区別なし:	<input type="checkbox"/>
ひらがな/カタカナの区別なし:	<input type="checkbox"/>

デフォルトアップロード条件

ユーザアップロード設定:	<input type="text" value="(<アップロード時に指定)"/>
データの一行目にテンプレート情報を含む:	<input checked="" type="checkbox"/>

2. 詳細設定 (WEB)

1. WEB ブラウザでの「一般ユーザによる登録検索 (共有) の編集禁止

アクセス権のあるユーザ全員が見られる共有の「登録検索」の削除、編集を禁止します。管理者のみが共有登録検索の作成、削除ができます。設定 (チェックボックスにチェック) すると、一般ユーザが共有の登録検索の削除、変更をすることが出来なくなります。デフォルトは「誰でも編集可」の状態です。

2. WEB ブラウザで「検索フォームの非表示」を設定します。

設定 (チェックボックスにチェック) すると、検索フォームが表示されません。WEB からアクセスした場合に新規の検索はできなくなります。ビューテーブル、登録検索 (共有) を予め管理者が設定しておく必要があります。

3. 「パソコンからのアクセス可否」を設定します。

設定 (チェックボックスにチェック) すると、パソコンからのアクセスができなくなります。

3. 詳細設定 (携帯)

1. 携帯ブラウザでの「検索フォームの非表示」

設定 (チェックボックスにチェック) すると、検索フォームが表示されません。携帯からアクセスした場合に新規の検索はできなくなります。ビューテーブル、登録検索 (共有) を予め管理者が設定しておく必要があります。

2. 「一覧画面での項目名の表示」を設定します。

設定 (チェックボックスにチェック) すると、各レコードそれぞれに「項目名」が表示されます。携帯画面の見栄えを調整する為に、一覧画面中での項目名の表示 / 非表示の切り替えができます。

3. 「携帯からのアクセス可否」を設定します。

設定 (チェックボックスにチェック) すると、携帯ブラウザからのアクセスができなくなります。

4. デフォルト検索条件

英字の大文字 / 小文字, 全角 / 半角, ひらがな / カタカナの区別なしで検索できるように設定できます。アドバンスド検索の設定は、データベースごとにそれぞれ行います。設定するには、管理者画面「DB 設定変更」の「デフォルト検索条件」にあるチェックボックスにチェックを入れ、「設定変更」ボタンをクリックすると設定されます。

1. アドバンスド検索オプションの表示

チェックボックスにチェックを入れることで、検索画面上に「英字の大文字 / 小文字」, 「全角 / 半角」, 「ひらがな / カタカナ」のチェックボックスを表示し、検索時に変更できるようにできます。

2. 英字の大文字 / 小文字の区別なし

チェックボックスにチェックを入れることで、英字 (アルファベット) の大文字 / 小文字の区別をしないように設定できます。「全角 / 半角の区別無し」と組み合わせることにより、全角「A」と半角「a」の同一視ができます。

3. 全角 / 半角の区別なし

チェックボックスにチェックを入れることで、全角 / 半角の区別をしないように設定できます。「ひらがな / カタカナの区別なし」と組み合わせることにより、半角「ア」と全角「あ」の同一視が可能となります。

4. ひらがな / カタカナの区別なし

チェックボックスにチェックを入れることで、ひらがな / カタカナの区別をしないように設定できます。

5. 特殊文字の全角半角の区別

特殊文字の全角半角の区別は以下の文字に限られます。

, . : ; ? ! _ ^ / ¥ | () [] { } + - = < > \$ % # & * @ , . : ; ? ! _ ^ / ¥ | () [] { } + - = < > \$ % # & * @

※ 注意

1. DB/View 作成直後のデフォルトの動作は、上記の区別をする設定になっています。
2. 管理画面で、DB/View毎に設定を行わないとこの設定は有効になりません。
3. 以下の半角全角の同一視は対象外です。
 - ・ 半角カタカナ+濁音/発音 <-> 全角ひらがな/カタカナの濁音/発音
例) 半角「タ」+ 濁音「ゝ」は、全角「だ」または「ダ」とは同一視されません。
 - ・ 全角半角スペース

6. デフォルトアップロード条件

データのアップロード権限があるユーザがどのような条件でアップロードできるかを決定します。

条件は以下の4つです。

1. ユーザアップロード設定

1. **アップロード時に指定**
アップロードをするごとに条件を設定します。条件は以下2~4と同じです。
2. **上書きアップロード**
既存のデータを削除し、アップロードデータと置き換えます。
3. **追加アップロード(先頭に追加)**
既存のデータの先頭にアップロードデータを追加します。
4. **追加アップロード(末尾に追加)**
既存のデータの末尾にアップロードデータを追加します。

2. データの一行目にテンプレート情報を含む

データの一行目にテンプレート情報を含む場合はチェックを入れます。

アクセス権限設定

データベースやビューテーブルに対するアクセス権を設定します。

プルダウンから制御するデータベースを指定して、「アクセス権変更」ボタンをクリックしてください。

編集禁止	管理者を除くすべてのユーザが編集できなくなります。
検索のみ可能	常に読みとりだけしか権限がありません。
検索及び編集可能	編集権限があります。
レコード作成・削除可能	レコードの追加と削除が行えます。検索権の設定を別途行ってください。
データダウンロード可能	データベース全体と絞り込みデータのダウンロードが可能です。検索権の設定を別途行ってください。
一括処理可能	レコード一覧表示画面で上で項目の編集を行うことができます。
アップロード可能	既存のデータベースに新たなレコード群を上書き/追加アップロードできます。元データベースにのみ機能します。

※ ご注意

1. 作成、削除権限があっても、編集権限がないとレコードの修正ができません。
2. 複数のユーザ・グループを同時に設定する場合はキーボードの「Ctrl」キーを押しながらユーザ名をクリックし、追加ボタンを押します。
アクセス権が指定されないユーザーはそのデータベースにアクセス権がありません。
3. 「検索のみ可能」と「検索及び編集可能」両方に登録した場合は「検索及び編集可能」となります。

4. グループ登録されているユーザにグループアクセス権で設定されている以外の権限をユーザ単位で与えた場合は、その権限も加えてユーザに与えられます。
5. 一括処理可能の設定がされていても、編集、作成、追加、ダウンロード権限が付与されていないユーザに対しては、一括処理リンクは表示されません。

データベース・データの削除

DB データ一括削除

テンプレートの設定は残したままデータのみを一括で削除します。

検索画面での任意のレコードを一括削除する方法

管理者のみの検索画面(データ一覧画面)で、選択したレコードの一括削除、一括ダウンロードができます。

1. データ(リスト)一覧画面、及び、検索結果画面で、検索バー下にあるメニューの「 一括処理」を選択クリックすると、リスト番号の次に「一括処理」選択欄が表示されます。
表示されたページのみにも反映されます。
検索したレコードが複数ページになる場合は、開いたページごとに「一括処理」をクリックしてください。データテーブルの一行目(項目行)に削除かダウンロードかを選択するプルダウンリストと全選択チェックボックス、実行ボタンがあります。
2. 処理したいレコードのチェックボックスをクリックし、チェックを入力します。
(全選択の場合は、全選択チェックボックスをクリックしチェックを入力)
3. データテーブル行目の処理選択プルダウンリストで削除を選択します。
※2と3の順はどちらが先でも構いません。
4. 実行ボタンをクリックし、削除します。

データベース削除

登録されているデータベースを削除します。データベースが削除されると関連するビューテーブルも同時に削除されます。

サブデータベース

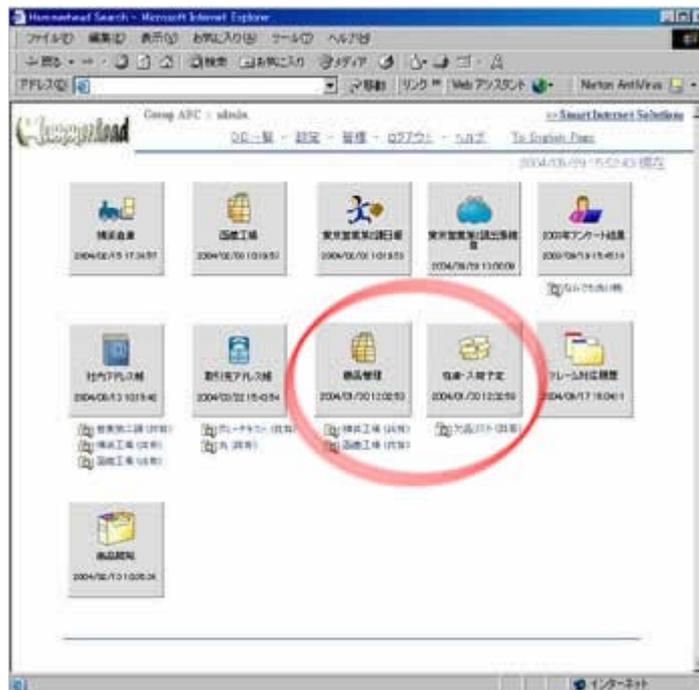
「サブデータベース」とは、参照する元データベース(親データベース)と同じテンプレートを共有するデータベースです。サブデータベースのデータ自体は親データベースと独立して作成することもアップロードすることも可能です。サブデータベースで作られたデータは、親データで一覧表示されます。

サブデータベースは、データアップロードができることと、通常のデータベースとしてカウントされることの二つがビューテーブルとの違いです。

ビューテーブル

「ビューテーブル」とは、元になるデータベースを参照しつつ、その一部分を表示させるというような「元とは違う表示」をする第2のテンプレートです。ユーザごとに、見える項目の設定や項目ごとの編集権限を制限するときに便利です。

ビューテーブルを作成するとDB一覧画面には、新たなデータベースが1つ増えたかのように表示されます。下図の例では、丸で囲んだうちの 하나가ビューテーブルです。もう一つは、その元となったデータベースです。



元データベースは、「商品管理」



その「商品管理」DBのビューテーブルが「在庫・入荷予定」です。



管理者画面のDB一覧には下図のように表示されますので、元となるデータベースとそのビューテーブルがどれであるかが判ります。

データベース名	項目数	レ
横浜倉庫	5	
函館工場	5	
東京営業第2課日報	5	
東京営業第2課出張積算	5	
2003年アンケート結果	5	
社内アドレス帳	10	
取引先アドレス帳	10	
クレーム対応履歴	10	
商品開発	10	
商品管理	8	
在庫・入荷予定		

ビューテーブル作成

1. 管理画面の「ビューテーブル作成」をクリックし、ビューテーブル作成画面を開きます。ビューテーブルの元となるデータベースを選択します。
2. 選択したデータベースに、既にビューテーブルが設定してある場合、それらのコピーができます。既存のビューテーブル一覧がプルダウンで表示となり、選択出来ます。選択すると、詳細設定(文字色や編集禁止、表示幅など)の設定がそのままコピーされます。ビューテーブルを設定していない場合は、元となるデータベースが設定されます。
3. 新規作成するビューテーブルに名前を付けます。
4. アイコンをプルダウンから選択します。
5. 内容を確認し、テーブル作成ボタンをクリックします。
6. DB項目設定画面が開きます。項目の設定方法はDB項目設定変更と同じです。
※「項目名」「データタイプ」「入力選択リスト」の編集は出来ません。

データベース・ビューテーブル作成

データベース名:	取引先アドレス帳
設定をコピーするデータベース/ビューテーブル名:	取引先アドレス帳
新規作成するデータベース・ビューテーブル名:	
アイコン:	001

テーブル作成

ビューテーブルにはフィルター機能があります。

フィルタ機能については 4.検索設定 > フィルタ機能を参照してください。

ビューテーブル削除

作成されたビューテーブルを削除します。ビューテーブルを削除しても元のデータベースには影響ありません。

ビューテーブル設定変更

ビューテーブルの表示項目や編集権限、デザインを変更できます。
設定方法はDB項目設定変更とおなじですが、「項目名」「データタイプ」「入力選択リスト」の編集は出来ません。

テンプレート

テンプレート登録

データベースの設定を保存します。
「DB項目設定」で設定したテンプレート(設定書式)を保存します。保存されたテンプレートは登録され、データベースの新規作成時に適用することが出来ます。同じテンプレートのデータベースを複数作成するときに便利です。

テンプレート削除

テンプレートを削除します。
作成されたテンプレートを削除します。テンプレートを削除しても元のデータベースには影響ありません。

テンプレートダウンロード

テンプレートを保存します。
データベースに設定したテンプレートをHDD、フロッピーなどに保存します。

テンプレートアップロード

保存されているテンプレートを Hammerhead に取り込みます。
外部に保存されているテンプレートをアップロードし登録します。→上記テンプレート登録参照

2. ユーザ管理

ユーザやユーザグループの登録、削除を行います。

ユーザ登録・管理

ユーザー一覧

登録ユーザの「ユーザID」「ユーザ名」「E-MAIL アドレス」「ユーザ情報」を表示します。パスワードは表示されません。また、各登録ユーザの最終アクセス日時も表示されます。

表示されている「ユーザID」をクリックすると「ユーザ設定変更」画面が開きます。ここではグループID、ユーザ情報の変更の他にユーザの使用期限とロックの設定ができます。

使用期限を設定することで、有効期限を過ぎると、ユーザはデータへのアクセスができなくなります。また、有効期限が残り10日を切ると、その旨のメッセージが次回ログイン時にユーザに通知されます。

ユーザ登録

ログインユーザを登録します。新規ユーザ登録をします。

「ユーザID」「パスワード」「E-MAIL アドレス」「ユーザ情報」を登録します。「ユーザ名」「E-Mail アドレス」「ユーザ情報」はDBのレコード内に表示させることが出来ます。(→関数一覧)

すでにユーザグループを登録してある場合はグループIDが表示されます。

グループを設定するとそのグループIDのアクセス権が設定されます。

ユーザ削除

登録されているユーザを削除します。

ユーザ情報設定

登録ユーザの「グループID」「ユーザ名」「E-MAIL アドレス」「ユーザ情報」を編集します。一人のユーザに複数のグループIDを設定するときはキーボードの「Ctrl」ボタンを押しながら登録したいグループIDをマウスでクリックします。

「ユーザ名」「E-MAIL アドレス」「ユーザ情報」はデータベースのレコードに表示することが出来ます。

※ 設定方法は関数一覧を参照してください。

パスワード変更

登録ユーザのパスワードを変更します。パスワードを忘れてしまったときはここで再び設定してください。

グループ管理

グループ一覧

登録されているグループ情報を表示します。

登録されているグループIDとグループ情報を一覧表示します。

グループ登録

新規にグループを設定します。

「グループID」「グループ情報」を設定し、管理者以外のユーザを選択します。

複数のユーザを選択するときはキーボードの「Ctrl」ボタンを押しながら登録したいユーザIDをマウスでクリックします。

グループ削除

登録されているグループを削除します。

削除されたグループに属していたユーザはアクセス権を失います。

グループ設定変更

登録されているグループの設定を編集します。

グループをプルダウンで選択し設定を編集します。複数のユーザを登録するときはキーボードの「Ctrl」ボタンを押しながら登録したいユーザIDをマウスでクリックします。

3. カスタマイズ

各種設定をカスタマイズします。

IP アクセス制限

Hammerhead へのアクセスを許可する IP アドレス(*)を設定することができます。

IP アドレス アクセス制限の有効化

IPアクセス制限が有効になりました。

IPアドレスアクセス制限の設定

【設定上の注意】

- IPアドレスアクセス制限を有効化する場合、『現在アクセスしているIPアドレス』が固定IPであることを確認し、『アクセスを許可するIPアドレス』に追加してください。
- 『現在アクセスしているIPアドレス』がDHCPで割り当てられたIPアドレスである場合は、IPアドレスアクセス制限を有効化しないでください。
- 『アクセスを許可するIPアドレス』は固定IPである必要があります(不明な場合は入力しないでください)。

設定の詳細はヘルプを参照してください。

現在アクセスしているIPアドレス: 193.77.159.169

IPアドレスアクセス制限の有効化:	IPアドレス	コメント	アクション
<input checked="" type="checkbox"/>	999.999.999.999	株式会社TEST	
	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="button" value="クリア"/>

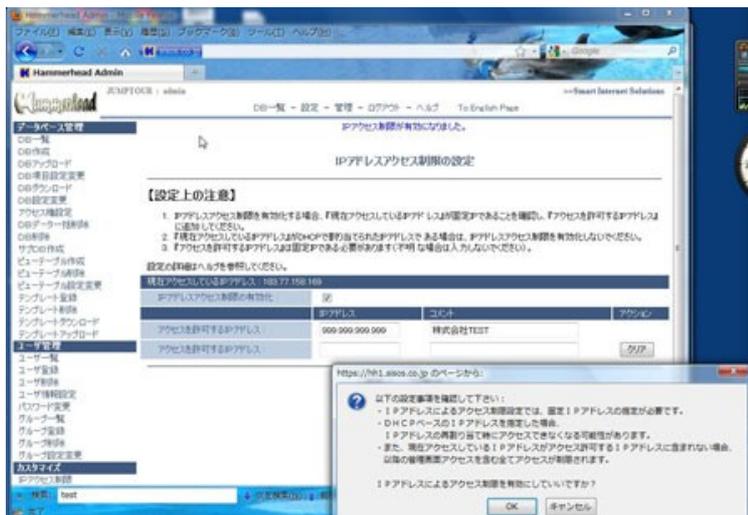
IP アドレスによるアクセス制限を有効にした場合、アクセスを許可した IP アドレス以外は、Hammerhead にログインすることが出来ません。

IP アドレスが未指定の場合、アクセス制限は実質無効となります。

また、アクセスを許可する IP アドレスを設定した後に「IP アドレスアクセス制限の有効化」を解除した場合、IP アドレス制限は無効となります。

【有効化の際のご注意】

アクセス権を付与する IP アドレスは、固定 IP であることが条件となり、最低一つの IP アドレス指定が必要です。



DHCP(*)で割り当てられた IP アドレスを指定した場合、IPアドレスの再割り当て時に以前と異なる IP アドレスが割り当てられることがあります。その場合、検索画面と管理画面の両方のアクセスが制限され、hammerhead にログインすることが出来なくなります。

アクセスを許可する IP アドレスの設定

IPアドレスアクセス制限の設定

【設定上の注意】

- IPアドレスアクセス制限を有効化する場合、『現在アクセスしているIPアドレス』が固定IPであることを確認し、『アクセスを許可するIPアドレス』に追加してください。
- 『現在アクセスしているIPアドレス』がDHCPで割り当てられたIPアドレスである場合は、IPアドレスアクセス制限を有効化しないでください。
- 『アクセスを許可するIPアドレス』は固定IPである必要があります(不明な場合は入力しないでください)。

設定の詳細はヘルプを参照してください。

現在アクセスしているIPアドレス: 192.168.123.456

IPアドレスアクセス制限の有効化:

アクセスを許可するIPアドレス:	IPアドレス	コメント	アクション
	192.168.123.456	株式会社アクセスアップ	クリア
	192.168.111.111	スマートインターネットソリューションズ株式会社	クリア
	192.168.123.123	(株) sioaテスト	クリア
	192.168.222.333	コメントテキスト	クリア

設定 リセット

【設定方法】

IP アドレスは、1つずつ設定します。

管理者自身の IP アドレスを最初に設定してください。設定画面の一番上部の濃いブルーの欄に「現在アクセスしている IP アドレス」が表示されます。

- アクセスを許可する IP アドレスを入力してください。
- 必要であれば、コメント欄に入力した IP アドレスについての説明をそれぞれ入力します。
- 「IPアドレスアクセス制限の有効化」にチェックを入れます。
有効化は、全ての IP アドレスを設定(1.2.4 を繰り返し)してからで構いません。
(IP アドレスが未指定のまま設定ボタンをクリックしても、アクセス制限はかかりません。設定画面の上部に「IPアドレスが未指定のためアクセス制限は実質無効です。」と表示されます。)
- 「設定」ボタンをクリックして設定は完了です。

※「現在アクセスしている IP アドレス」をアクセス可能な IP アドレスとして設定しないで、IP アドレス制限を有効化した時は、以降のアクセスができなくなるので注意してください。

※IP アドレスを設定した後に「IP アドレスアクセス制限の有効化」を解除した場合、IP アドレス制限は無効となります。

コメント

IP アドレスの管理等に利用できます。コメントは設定後でも編集が可能です。変更等を行った後、必ず「設定」ボタンをクリックしてください。

設定ボタン

全ての入力、編集は「設定ボタン」をクリックすることで完了します。
設定ボタンをクリックしないと「有効化や追加、削除、コメント」の変更は設定されません。

クリアボタン

IP アドレスの削除や入力間違い等で設定してしまった場合、クリアボタンをクリックし、IP アドレスを削除することで該当の IP アドレスをアクセス制限の有効対象から削除できます。
設定ボタンをクリックしないと削除は設定されませんのでご注意ください。

リセットボタン

入力した内容をキャンセルして、編集途中の内容を元の内容に戻します。

アクセスを許可した IP アドレスの解除

IP アドレスの横に表示されている「クリア」ボタンをクリックし、画面から削除されたことを確認後、設定ボタンをクリックすることで削除できます。

設定ボタンをクリックしないと設定は完了しません。

IP アドレスの変更

IP アドレスを変更する場合、一度設定した IP アドレスは変更することが出来ないので、変更したい IP アドレスを「クリア」ボタンで削除し、新たに IP アドレスを入力し、「設定」ボタンをクリックしてください。

用語解説

(*1) IP アドレス【Internet Protocol Address】

インターネットやイントラネットなどの IP ネットワークに接続されたコンピュータや通信機器 1 台 1 台に割り振られた識別番号。

インターネット上ではこの数値に重複があってはならないため、IP アドレスの割り当てなどの管理は各国の NIC(ネットワークインフォメーションセンター)が行っている。

(*2) DHCP【Dynamic Host Configuration Protocol】

コンピュータがネットワーク接続する際に必要な情報を自動的に割り当てるプロトコルのこと

引用:IT 用語辞典 e-Words

カラー設定

データベース及びビューテーブルの色を設定します。
設定するデータベースをプルダウンリストから選び、9色の中から選択ができます。
初期設定は、ブルーです。

データベース・カラー設定

データベース名	データベースを選択して下さい			
データベース色	<input type="radio"/> #3E5880	<input type="radio"/> #7592BD	<input type="radio"/> #00CEE2	<input type="radio"/> #03DCEB
	<input type="radio"/> #7A7141	<input type="radio"/> #C9694E	<input type="radio"/> #E2DD07	<input type="radio"/> #EAE7D7
	<input type="radio"/> #800080	<input type="radio"/> #C965A4	<input type="radio"/> #EAC1D0	<input type="radio"/> #F1D8E9
	<input type="radio"/> #147500	<input type="radio"/> #66B150	<input type="radio"/> #C5DFBB	<input type="radio"/> #D8EAD0
	<input type="radio"/> #397940	<input type="radio"/> #C9A301	<input type="radio"/> #E1CCB9	<input type="radio"/> #F0E2D2
	<input type="radio"/> #6954B1	<input type="radio"/> #A27DE5	<input type="radio"/> #D908E1	<input type="radio"/> #E307EA
	<input type="radio"/> #929EB3	<input type="radio"/> #C08EB6	<input type="radio"/> #DDCD07	<input type="radio"/> #EAE9E6
	<input type="radio"/> #40829E	<input type="radio"/> #02B1C8	<input type="radio"/> #B905E1	<input type="radio"/> #D3E6ED
	<input type="radio"/> #3E5880	<input type="radio"/> #7287A7	<input type="radio"/> #C2CCDA	<input type="radio"/> #DAE1E9

カラー設定

伝言設定

ログインメッセージ設定

Hammerhead >>Smart Internet Solutions
ログイン - 設定 - ヘルプ To English Page

Hammerhead Ver. 3.5

グループ名:	sisos
ユーザID:	
パスワード:	

ログイン

ログインメッセージはログイン画面に表示されます。

管理者からの伝言を編集します。
ログイン後表示される管理者伝言を編集します。HTMLの利用は可能ですが、サーバ間の通信にSSLを用いて情報の暗号化をしているため、外部サーバーからのイメージ取得は出来ません。

ログインメッセージ設定

HTMLタグ使用可:

伝言:

ログインメッセージはログイン画面に表示されます。|

伝言設定

伝言の表示/非表示

伝言設定

伝言を非表示に設定するには、管理画面の「伝言設定」を開き、「メッセージ非表示」にチェックを入れて保存することで設定できます。



伝言を作成と編集

管理画面の「カスタマイズ」>「伝言設定」を開きます。

HTML タグを使用の場合は、「HTML タグ使用可」にチェックを入れ伝言を入力してください。

伝言の表示/非表示

伝言メッセージを非表示にする場合は、「メッセージ非表示」にチェックを入れてください。

外部サーバからのイメージについて

サーバ間の通信にSSLを用いて情報の暗号化をしているため、外部サーバからのイメージ取得は出来ません。



4. 検索設定

データベースの検索方法

登録検索

複雑な絞り込み検索を登録します。

データベースから必要なレコードだけを選び出すとき、最初の検索結果を更に検索する「絞り込み検索」を行います。

しかし、目的レコードまでの絞り込み検索数が多くなり、しかも同じ作業を定期的に繰り返さなくてはならなくなると毎回手間がかかってしまいます。

「登録検索」はそのような複数回に渡る絞り込み条件に名前を付けて登録する機能です。

次回から同じパターンの絞り込み検索を行う場合は、登録した検索条件をクリックするだけで目的のレコードを表示します。

設定方法

1. データベースを選択し絞り込み検索を繰り返します。
2. 目的の検索結果が表示されたら、「登録検索」ボタンをクリックします。「検索条件登録」ウィンドウが開きます。
3. 検索名に名前を付けます。この登録検索を他のユーザと共有する場合は「共有する」にチェックしてください。
4. 設定後、検索画面の「登録検索」欄に設定した登録検索がプルダウン表示されます。データベースを選択し、登録検索をクリックすると登録検索条件に従った検索結果が得られます。

オーナー検索登録

ログインユーザ自身が作成したレコードを検索し、その結果を登録できます。

この登録検索をすべてのユーザと共有すれば、各ログインユーザが自身で作成したレコードのみを検索できるようになります。

この設定はシステムのレコード作成者情報を検索するものなので、ユーザごとに同じ登録検索を行う必要はありません。

そのため登録名は共有であることが分かる「ログインユーザ作成」等の名前を登録検索名にすることをお勧めします。

設定方法

絞込検索バーで、以下のように入力します。

検索対象: OWNER

条件: 一致

キーワード: \$USER

この時点で、現在のログインユーザが作成したレコードの一覧が表示されます。

「登録検索」ボタンを押し、名前を付けて登録します。

フィルタ機能

フィルタ機能とはビューテーブルのレコード表示に制限をかける機能です。予め決められた検索条件の結果がそのビューテーブルの全レコードとなります。ユーザにレコード閲覧制限をかけるときなどにご利用いただけます。

設定方法

1. ビューテーブルを選択し絞り込み検索を繰り返します。
2. 目的の検索結果が表示されたら、「Filter」ボタンをクリックします。「フィルタ登録」ウィンドウが開きます。内容が正しければ「保存」をクリックしてください。
3. 設定後そのビューテーブルにログインすると、自動的にフィルタ登録された検索の結果のみが表示されます。そこから再び絞り込み検索を行うことも出来ます。

※フィルタ機能はビューテーブルのみに設定が出来ます。

解除方法

フィルタ登録の解除をしたいデータベース(ビューテーブル)のレコード一覧画面を開きます。「Filter」ボタンをクリックし、フィルタ登録画面を開きます。「削除」ボタンをクリックすると解除されます。そのままの画面にはフィルタ登録時の絞り込み検索表示になっていますので、「List All」をクリックし、解除されていることを確認してください。

MyDB

作成者の作ったレコードのみを表示する設定です。例えば、経費清算 DB を作成し、各社員ごとに記入させる場合、従来社員数だけビューテーブルを作成し、それに対してアクセス権を与えることで他の社員のレコードを見えないようにしていました。

しかしこれでは社員が50人いる場合などで50個のビューテーブルと50通りのアクセス権を与えなくてはならず、作業手間が多くなってしまいました。

「MyDB」はひとつのビューテーブルをつくり、あるフィルターを設定することで、すべてのユーザに個々のビューテーブルを与えるのと同じことが出来るようになりました。

設定方法

1. 元 DB に対しビューテーブルを作成します。
2. 一覧表示後、下記のように検索条件を設定します。

検索対象: Owner (プルダウンの一番下に追加しました)
条件: 一致 (=x)
キーワード: \$USER (半角大文字、半角小文字でも可)

3. admin が作成したレコードが表示されます。
admin が作成したレコードがないときは「追加」ボタンが出ます。
動作確認でひとつ追加設定が正しく行われたか確認してください。
すでに複数レコードがある中で今作成したレコードのみが表示されたら設定は正しく行われました。
4. レコード一覧表の画面右側に表示される「Filter」ボタンを押し登録します。

MyDB の応用

ビューテーブルを2つ作り、一つは他の人のレコードを閲覧のみ出来る設定とし、もう一つには同機能を設定して各ユーザに編集や削除権限を設定します。これにより各ユーザは自分のレコードのみ編集が出来き、その他のレコードは閲覧しか出来ないシステムが作れます。

MyDB の拡張

同機能を設定したビューテーブルに RDB リンクを設定したとき、「参照」で表示されるレコードはそのユーザが所有者であるもののみ表示されます。

グループ DB

特定のグループに属するユーザのレコードのみを表示する設定です。

ユーザ登録画面もしくはユーザ設定変更画面のユーザ情報欄に記入された文字列をベースに、該当者のレコードのみを表示します。

例えば、同じグループのスタッフが作成したレコードだけを表示したい、などのご利用に便利です。

「グループ DB」はひとつのビューテーブルをつくり、あるフィルターを設定することで、各々のユーザが属するグループのメンバーが作ったデータのみ編集・削除等のアクセス権を与えられるよう設定が出来ます。

設定方法

1. ユーザ設定変更画面(管理者画面左メニューのユーザ情報設定をクリック)、又はユーザ登録画面で、各ユーザのユーザ情報欄(ユーザ情報, ユーザ情報(1)~(5)のいずれか同じ欄)に共通の文字列を入力します。(ユーザ登録 / ユーザ情報参照)
2. 元 DB にユーザ情報を表示する項目を作り、項目属性を関数にします。
3. 「入力選択リスト／関数」欄にユーザ情報を表示する関数を入力します。(関数一覧参照)

(例)「ユーザ情報(1)」の内容を表示する場合は\$owner.info1 と入力します。
4. 元 DB に対しビューテーブルを作成します。
5. 作成したビューテーブルに所有者が違うレコードを複数入力し、ユーザ情報が正しく表示されることを確認します。
6. 一覧表示後、下記のように検索条件を設定します。

検索対象: ユーザ情報を表示している項目

条件: 一致 (=x) 含む 等

キーワード: \$user.info1 (「ユーザ情報(1)」の文字列を検索する場合)

7. 設定の確認は、設定したビューテーブルをクリックします。
admin でログインし設定しているので、ユーザ情報に admin と同じ文字列が入力されているユーザのレコードのみが表示されていれば、設定は正しく行われています。
8. 設定が正しければ、レコード一覧表の画面右側に表示される「Filter」ボタンを押し登録します。これでグループ DB の設定は完了です。

ユーザ設定変更画面入力例

ユーザ設定変更

ユーザID :

グループID : <<追加 << >>削除 >>

ユーザ名 :

E-Mailアドレス :

ユーザ情報 :

ユーザ情報(1) :

ユーザ情報(2) :

ユーザ情報(3) :

ユーザ情報(4) :

ユーザ情報(5) :

ユーザ設定変更

ユーザID :

グループID : <<追加 << >>削除 >>

ユーザ名 :

E-Mailアドレス :

ユーザ情報 :

ユーザ情報(1) :

ユーザ情報(2) :

ユーザ情報(3) :

ユーザ情報(4) :

ユーザ情報(5) :

変数検索

項目のデータタイプを日付に設定したものに使用できる検索機能です。
 キーワードに変数を入力して検索ができます。
 変数検索を登録しておくことで、“今日のレコードのみ表示”など日付に関する検索が便利になります。

検索対象	キーワード	解説
日付の項目	\$THISYEAR \$LASTYEAR \$NEXTYEAR \$THISMONTH \$LASTMONTH \$NEXTMONTH \$TODAY	左記変数を検索キーワードに入力すれば、現在を基準に該当レコードを検索します。 検索対象は、データタイプが日付又は、日付の年月日の区切りが半角スラッシュ/、年は西暦4桁で表示されているものが対象となります。

4. Hammerhead ユーザヘルプ

ユーザ用ヘルプは以下の2つの章からできています。

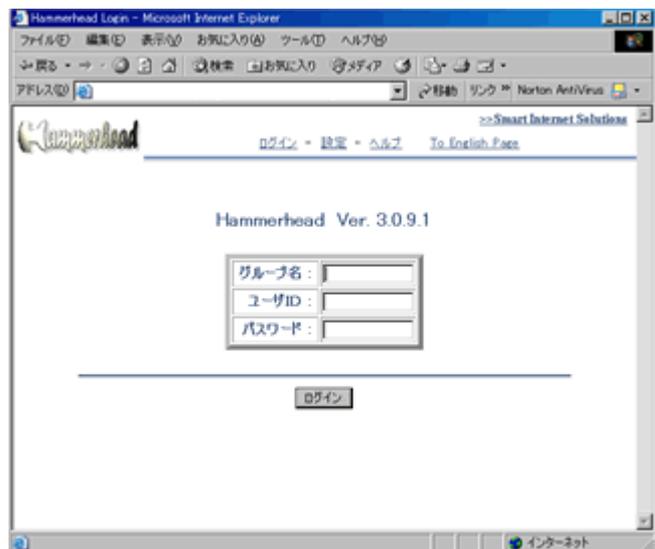
1. 基本操作
2. 検索方法

1. 基本操作

Hammerhead を使用する基本操作や各ユーザでの設定をご説明します。
基本操作は、表示される画面順、画面別になっています。

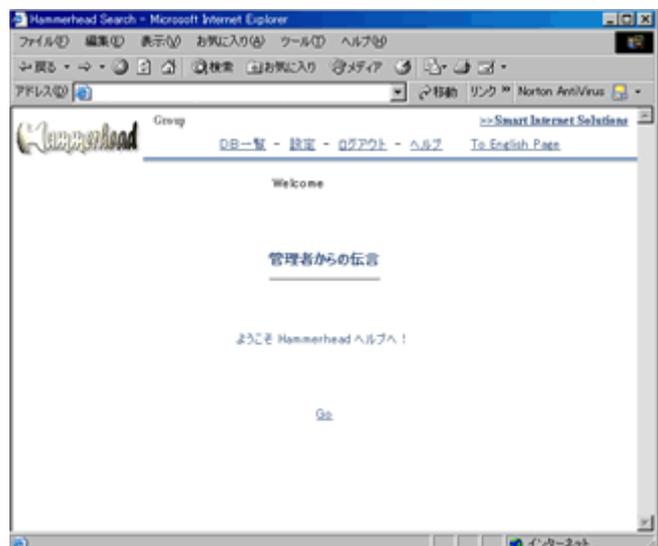
ログイン画面

Hammerhead にアクセスすると、ログイン画面が表示されます。
「グループ名」、「ユーザID」、「パスワード」を入力し、「ログイン」ボタンをクリックします。



管理者からの伝言画面

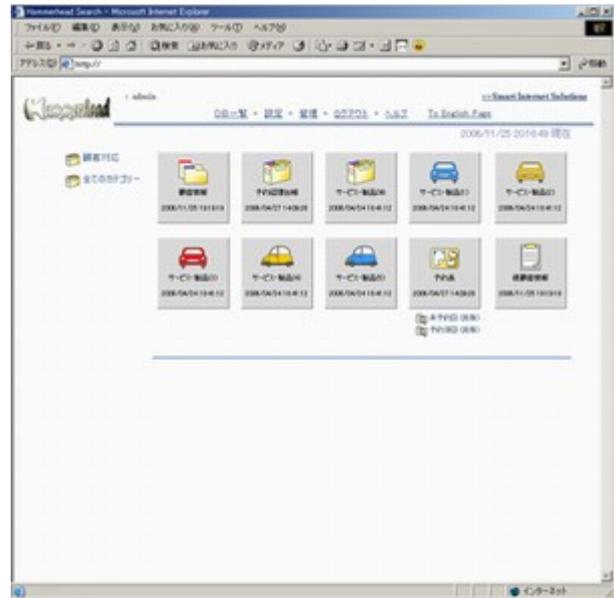
管理者の設定によっては、表示されない場合もあります。
伝言の下にある「Go!」または、上の「DB 一覧」をクリックすると、データベース一覧画面へ進みます。



データベース一覧画面

管理者よりアクセスを許可されたデータベースの一覧と画面左にカテゴリ分類が表示されます。各データベースの四角いボタンをクリックすると、そのデータベースのレコード一覧表示画面が開きます。各カテゴリをクリックすると、該当するデータベースが右側に表示されます。全てのデータベースを表示させたい場合は、「全てのカテゴリ」をクリックします。

※カテゴリとは、データベースを種類別に分類したものです。設定されていない場合は、「全てのカテゴリ」と表示されています。



📁 登録検索

閲覧しているデータベースで、検索パターン(検索条件)が登録されているものです。

データベース一覧画面から検索条件を入力せずに、検索結果へ一足飛びに到達できます。

登録検索の設定方法などの詳細は、2 検索方法「登録検索」をご覧ください。

よく使用する検索や、絞り込み検索を数回繰り返さなければならぬなどの面倒な検索条件の場合に便利な機能です。

レコード一覧画面

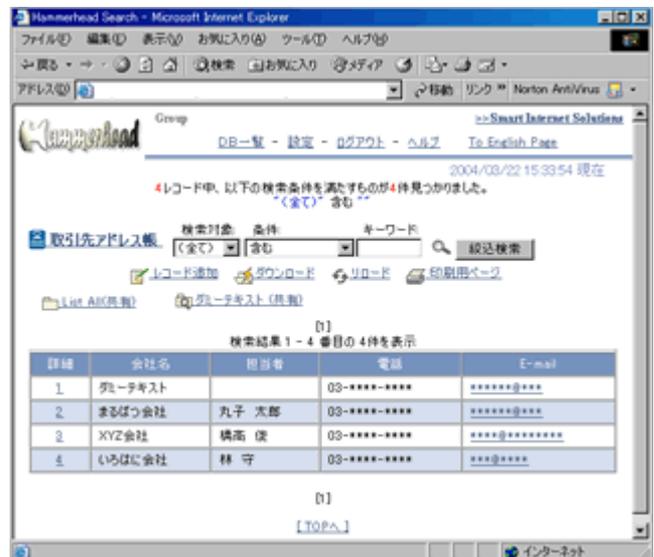
データベース一覧画面で選択したデータベースのレコード一覧が表示されます。レコード行の一番左の列「詳細番号」をクリックすると詳細画面がポップアップウィンドウで開きます。

データベース名

閲覧中のデータベース名が表示されます。

このデータベース名をクリックすると、全レコード一覧表示になります。

” 📁 List All(共有) ”と同じ機能です。



検索バー

探したいレコードや検索したい項目などがある場合は、検索バーで「検索対象」「条件」「キーワード」を入力し、「絞り込み検索」ボタンをクリックします。

詳しい検索方法は、2.検索方法>検索対象 をご覧ください。

📄 レコード追加

閲覧しているデータベースにレコードを追加したい場合、📄 をクリックするとレコード追加画面がポップアップウィンドウで開きます。

ダウンロード

閲覧しているレコード一覧画面(検索結果画面)で、表示されている検索結果を”csv”ファイルでダウンロードすることができます。

アップロード

閲覧しているデータベースに別のデータベースを上書き/追加します。

リロード

閲覧しているデータベースを最新の状態に更新できます。

印刷用ページ

閲覧しているレコード一覧画面(検索結果画面)で、表示されている検索結果を印刷するための画面が開きます。メニューや検索バーなどが無い検索結果のみの表示となります。

List All(共有)

閲覧しているデータベースの全てのレコードを一覧表示します。
検索バー左の”データベース名”をクリックしても全てのレコード一覧表示になります。

登録検索

閲覧しているデータベースで、検索パターン(検索条件)が登録されているものです。
登録検索の設定方法などの詳細は、2 検索方法「登録検索」をご覧ください。
よく使用する検索や、絞込み検索を数回繰り返さなければならないなどの面倒な検索条件の場合に便利な機能です。

一括処理

一括処理とは、一覧画面で編集ができる機能です。
大きく分けて、レコードに対して行う一括処理と、各フィールドに対して行う一括処理があります。
一括処理を使用することにより、各レコードの詳細画面を開くことなく編集することができます。
レコードに対して行う一括処理とは、レコード一覧画面中で表示されているレコードに対して「編集」「コピー」「削除」「ダウンロード」ができる機能です。一括処理権限は、そのDB/テーブルに対するアクセス権限に順じ、一括処理権限が付与されている場合に限りです。

【一括編集】

一括編集は、一覧表示画面で表示されている項目の編集を一画面が行える機能で、複数レコードの特定項目を編集する際に、一画面での操作を可能にするものです。
項目を指定して編集する「項目一括編集」と、「全表示項目一括編集」の機能があります。

【項目一括編集】

一覧表示の「項目ボタン」をクリックして編集を開始し、「保存」ボタンを押して保存を行います。同じ文字列を一括で入力する時は、項目名の下に表示される空欄に希望の文字列を入力し「全設定」ボタンを押します。全ての項目に同じ文字が入力されたことを確認したら「保存」ボタンを押します。

【全表示項目一括編集】

一括操作のプルダウンから「一括編集」を選択し実行をクリックすると、表示項

目が全て編集可能になります。編集後、「一括保存」ボタンをクリックし編集内容を保存してください。

※ 一括編集での制限事項

一括編集では「RDB」属性の項目の編集はサポートしません。

【一括コピー】

一括操作のプルダウンから「一括コピー」を選択、コピーしたいレコードのチェックボックスを選択し、「実行」ボタンをクリックすると、選択されたレコードが一括コピーされます。

【一括削除】

一括操作のプルダウンから「一括削除」を選択、削除したいレコードのチェックボックスを選択し、「実行」ボタンをクリックすると、選択されたレコードが一括削除されます。

【一括ダウンロード】

一括操作のプルダウンから「ダウンロード」を選択、ダウンロードしたいレコードのチェックボックスを選択し、「実行」ボタンをクリックすると、選択されたレコードが一括ダウンロードされます。

【制限事項】

1. ソート機能と共存できません。
2. 一括処理の対象は一ページで表示できるレコードに対してのみで、複数ページに及ぶ編集対象は、複数回に分けて行う必要があります。現状の画面中の最大表示項目は500レコードです。使用する環境の使用可能なりソースにより、動作しない場合は、表示レコード数を減らす必要があることがあります。

各フィールドに対して行う一括処理とは、レコード一覧画面中で表示されているレコードのフィールドに対して編集ができる機能です。処理したい項目ボタンをクリックすると、各項目の設定が反映され、編集できます。ただし、ファイルサーバに関する一括処理はできません。一括処理権限は、そのDB/テーブルに対するアクセス権限に順じ、一括処理権限が付与されている場合に限りです。

レコード詳細画面

レコード一覧画面の詳細番号で選択したレコードの詳細画面が表示されます。

この画面で、レコードの「変更」、「追加」、「コピー」、「ダウンロード」、「削除」を行うことができます。

また、詳細画面上で前・後レコードへの移動ができます。

※閲覧権限のみの場合は、「戻る」「閉じる」ボタンのみが表示され、「変更」、「追加」、「コピー」、「ダウンロード」、「削除」はできません。

作成日

レコードを新規に作成した日時がレコードセル左上部に表示されます。

最終更新日

レコードを更新した最終日時がレコードセル左上部に表示されます。



所有者

レコードの所有者がレコードセル右上部に表示されます。

最終更新者

レコードを更新した最終更新者がレコードセル右上部に表示されます。

印刷

表示しているレコードを印刷します。

設定

Hammerhead ユーザ・カスタマイズでは、レコード一覧画面での検索レコード表示数を変更及び、ヘッダの変更を行うことができます。

検索表示数の変更

ヘッダのメニュー「設定」をクリックします。

「検索表示数」のプルダウンメニューから表示数を選択してください。

設定可能な表示数は、「10」「20」「25」「50」「100」「500」の6パターンです。

ヘッダの変更

ヘッダのメニュー「設定」をクリックします。

「スタイル&配色」プルダウンメニューから選択してください。

スタイルは、「Text Only」を選択すると、画像を使用しないテキストのみのヘッダになります。

配色は、9色から選択することができます。



- 「Standard」デフォルトの青
- 「Beige」ベージュ
- 「Caramel」キャラメル色
- 「Cherry」チェリー
- 「Green」緑
- 「Grayish Green」グレイがかった緑
- 「Gray」グレイ
- 「Smoky Blue」くすんだ青
- 「Violet」紫

2. 検索方法

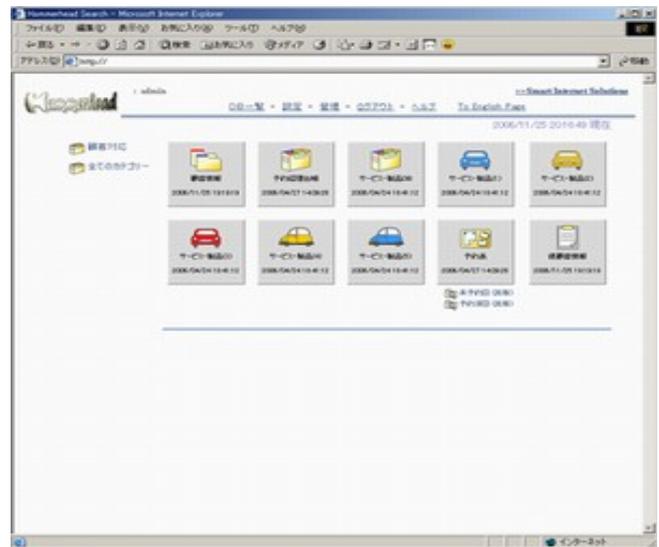
Hammerhead の検索機能を使いこなすことにより、より早く探しているデータに到達するだけでなく、データの分析などにも役立ちます

データベースの選択

管理者よりアクセスを許可されたデータベースの一覧の一覧が表示されます。
検索したいデータベースの四角いボタンをクリックすると、そのデータベースのレコード一覧表示画面が開きます。

登録検索

検索条件が登録されています。
クリック1回で絞り込まれた検索結果を開くことができます。
登録検索の詳細は、2 検索方法「登録検索」をご覧ください。



検索バー

検索の条件を設定し、絞込検索を行います。
仮に住所録データベースがあると下記のような検索バーだとします。

住所録中で”山田商事”という会社に勤めている人を探したい場合、

検索対象: ”会社名”
条件: ”含む”
キーワード ”山田商事”

となり、会社名が山田商事を含むレコードを探せということです。

検索対象: 条件: キーワード:

検索バーは、各レコード一覧画面(検索結果画面)上部にあります。
絞り込み検索結果に、更に絞り込み検索を行うことができます。

検索対象

選択したデータベースの項目名がプルダウンリストになっています。
キーワードを特定の項目の中で探すときに便利です。「(全て)」は全項目の中から該当するものを探します。
検索対象のプルダウンには、表示しているデータベースそれぞれの項目名がリストアップされます。

登録検索

検索パターン(検索条件)を登録することができます。
→登録検索の設定方法へ

検索条件

条件	解説	検索対象
含む	キーワードを含むレコードを検索します	(全て)
含まない	キーワードを含まないレコードを検索します	(全て)
始まる	キーワードで始まる項目を含むレコードを検索します	(全て)
終わる	キーワードで終わる項目を含むレコードを検索します	(全て)
一致 (=x)	キーワードが項目の文字列と一致するレコードを検索します	(全て)
一致しない (!=x)	キーワードが項目の文字列と一致しないレコードを検索します	(全て)
以上 (>=x)	数値か日付でキーワードより大きい数値、または新しい日を含むレコードを検索します	特定します
以下 (<=x)	数値か日付でキーワードより小さい数値、または古い日を含むレコードを検索します	特定します
~の間 ([x,y])	数値か日付で2つのキーワードの間に該当する項目を含むレコードを検索します	特定します
未記入(空)	未記入の項目があるレコードを検索します	(全て)

検索キーワード**文字列検索**

条件	キーワード	解説
含む	漢字, 数字, かな, カタカナ, アルファベット, マーク 等...	例えば2月生まれの人を検索する場合、「/2/」で検索すれば年・日に係わらずヒットします。 対象を設定しキーワードを入力せず検索すると、文字が入力されているレコードを検索します。 例えば2月生まれ以外の人を検索する場合、「/2/」で検索すれば年・日に係わらずヒットします。
含まない		
始まる		
終わる		
一致 (=x)		
一致しない (!=x)		

数値検索

条件	キーワード	解説
以上 (>=x)	半角の数値 日付	数値は半角で入力します。 日付は半角で 2002/1/20 の書式で入力します。 半角カンマで区切ります。 (記入例) 2002/1/10,2002/2/10
以下 (<=x)		
~の間 ([x,y])		

空欄検索

条件	キーワード	解説
未記入(空)	記入しない	検索対象を設定しキーワードを未記入のまま検索します。該当項目が未記入のレコードを検索します。

“or”検索

条件	キーワード	解説
含む	漢字, 数字, かな, カタカナ, アルファベット, マーク等...	2つのキーワード両方に該当する項目を含むレコードを検索します。
含まない		
始まる		「横浜 東京」のように2つの条件の間に半角のスペースを挟みます。
終わる		アルファベットや数字の半角と全角が混じった項目の検索に便利です。 例) A A O3 03
一致 (=x)		
一致しない (!=x)		

異なる項目間での“or”検索

異なる項目においても、キーワードに該当する項目を含むレコードを検索することができます。OR検索は複数ステップで行うことが出来ますが、絞込検索と混ぜて行うことは出来ません。ただし、OR検索の結果をフィルター登録した場合、その次の検索に絞込みを行うことは可能です。

【検索方法】通常のOR検索と同様に、2つのキーワードの間に半角のスペースを挟み、「絞込検索」ボタン隣の「OR検索」ボタンをクリックすることで、検索結果が表示されます。

変数検索

検索対象	キーワード	解説
日付の項目	\$THISYEAR \$LASTYEAR \$NEXTYEAR \$THISMONTH \$LASTMONTH \$NEXTMONTH \$TODAY	左記変数を検索キーワードに入力すれば、現在を基準に該当レコードを検索します。 検索対象は、データタイプが日付又は、日付の年月日の区切りが半角スラッシュ/、年は西暦4桁で表示されているものが対象となります。
OWNER	\$USER	自身がオーナーのレコードを検索します。

登録検索

データベースから必要なレコードだけを選び出すとき、最初の検索結果を更に検索する「絞り込み検索」を行います。

しかし、目的レコードまでの絞り込み検索数が多くなり、しかも同じ作業を定期的に繰り返さなくてはならなくなると毎回手間がかかってしまいます。

「登録検索」はそのような複数回に渡る絞り込み条件に名前を付けて登録する機能です。

次回から同じパターンの絞り込み検索を行う場合は、登録した検索条件をクリックするだけで目的のレコードを表示します。

設定方法

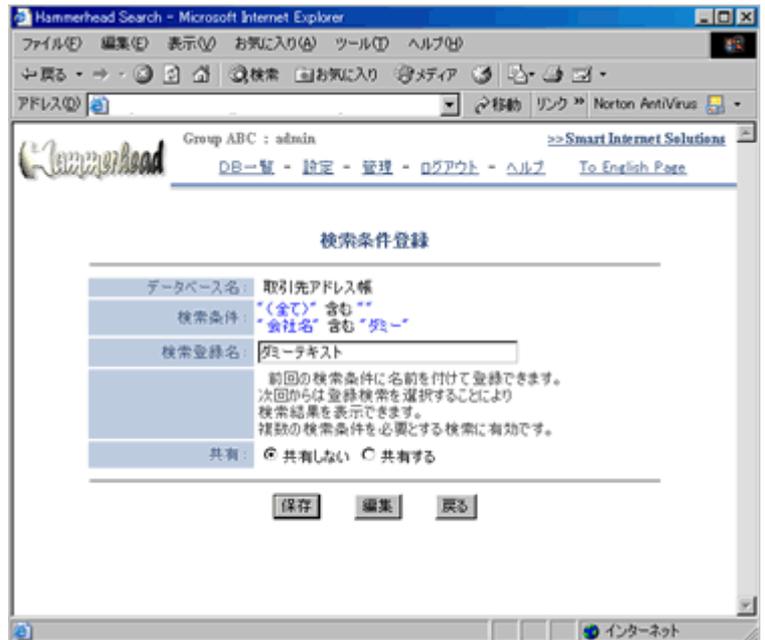
データベースを選択し絞り込み検索を繰り返します。

目的の検索結果が表示されたら、「登録検索」ボタンをクリックします。「検索条件登録」ウィンドウが開きます。

検索名に名前を付けます。この登録検索を他のユーザと共有する場合は「共有する」にチェックしてください。

設定後、検索画面(レコード一覧画面)のレコードセル上に設定した登録検索が” 検索登録名”で表示されます。

データベースを選択し、登録検索をクリックすると登録検索条件に従った検索結果が得られます。



登録検索削除

1. 削除したい登録検索結果画面を開き、登録検索ボタンをクリックし、検索条件登録画面を開いてください。
この画面ではそのまま何も入力しないで「編集」ボタンをクリックしてください。
(※この画面で登録検索名を入力すると、同じ検索条件の登録検索ができてしまいますのでご注意ください。今後の機能拡張を考えこの手順となっています。)
2. 登録検索削除画面が表示されます。検索登録名のプルダウンリストから、削除する登録検索名を選択し、「削除」ボタンをクリックして削除します。

設定変更

現在のところ、検索登録の条件、名前、共有、設定変更をするには、新たに絞り込み検索を行い検索条件を登録する必要があります。

必要なくなった登録検索は削除してください。

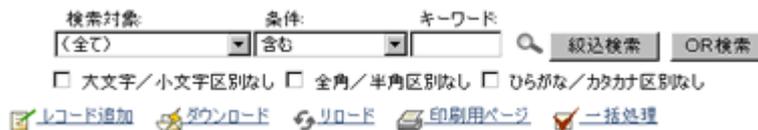
検索登録画面で「共有/共有しない」「検索登録名」を入力すると、同じ検索条件で新たな検索登録ができます。面倒な絞り込み検索で「共有/共有しない」「検索登録名」の変更をしたい場合は、削除する前に新たに作成しておく、登録する際の絞り込み検索をする手間が省けます。

アドバンスド検索

管理者により、アドバンスド検索が設定されているデータベースは、英字の大文字／小文字、全角／半角、ひらがな／カタカナの区別なしで検索できます。

検索方法

アドバンスド検索が設定されているデータベースには、検索バーの下に、「英字の大文字／小文字」、「全角／半角」、「ひらがな／カタカナ」のチェックボックスがあります。



チェックボックスをチェックすることで、それぞれ区別をしないで検索することができます。

「英字の大文字／小文字」と「全角／半角」を組み合わせることにより、全角「A」と半角「a」を区別せずに検索することができます。

また、「全角／半角」と「ひらがな／カタカナの区別なし」を組み合わせることにより、半角「ア」と全角「あ」を区別せずに検索することができます。

特殊文字の全角半角の区別

特殊文字の全角半角の区別は以下の文字に限られます。

.,:;!_'^/¥|()[]{}+ -= <> \$%# & * @, . : ; ? ! _ ^ / ¥ | () [] { } + - = < > \$ % # & * @

※注意

以下の半角全角の同一視は対象外です。

- ・ 半角カタカナ＋濁音／発音 <-> 全角ひらがな／カタカナの濁音／発音
例) 半角「タ」+ 濁音「ゝ」は、全角「だ」または「ダ」とは同一視されません。
- ・ 全角半角スペース

オーナー検索登録

ログインユーザ自身が作成したレコードを検索し、その結果を登録できます。

設定方法

絞込検索バーで、以下のように入力します。

検索対象: OWNER

条件: 一致

キーワード: \$USER (半角大文字、半角小文字でも可)

この時点で、現在のログインユーザが作成したレコードの一覧が表示されます。

「登録検索」ボタンを押し、名前を付けて登録します。

この登録検索をすべてのユーザと共有するれば、各ログインユーザが自身で作成したレコードのみを検索できるようになります。

この設定はシステムのレコード作成者情報を検索するものなので、ユーザごとに同じ登録検索を行う必要はありません。

そのため登録名は共有であることが分かる「ログインユーザ作成」等の名前を登録検索名にすることを勧めます。

5. Hammerhead のご利用環境

1. Hammerhead クライアントマシン環境

ブラウザ

Windows

- Microsoft IE6 以上
- Firefox 5.0 以上

Linux

- Firefox 5.0 以上
- Mac
- Safari 5.0 以上

2. Hammerhead 利用可能ケータイ

携帯電話網インターネットサービス

- I-mode
- Ez-web
- Soft Bank

※WILLCOMを含むブラウザ携帯・スマートフォンはPCとして認識されます。

※2005年以降発売の機種が対象です。

※一部機能が使えない機種があります。

改訂履歴

2007年4月2日	初版	
2008年5月12日	改訂	管理者のDB項目設定変更>入力データタイプ の「数値」と「通貨」に誤りを訂正
2008年8月28日	改訂	管理者のアクセス権限設定の設定について、旧バージョンを削除
2008年12月20日	改訂	管理者のデータベース管理の関数一覧を訂正
2009年9月17日	改訂	関数toSerchLink について追加
2009年12月3日	改訂	登録ユーザへの新しい設定 3つ追加
2011年9月29日	改訂	<ul style="list-style-type: none">•Hammerheadとは、最新版に合わせ修正。•関数設定 toString を追加•3つの新機能(IPアドレスアクセス制限、検索キー候補表示、RDBリンクRW) 設定方法追加。•カスタマイズ>伝言設定 設定方法 画像など追加